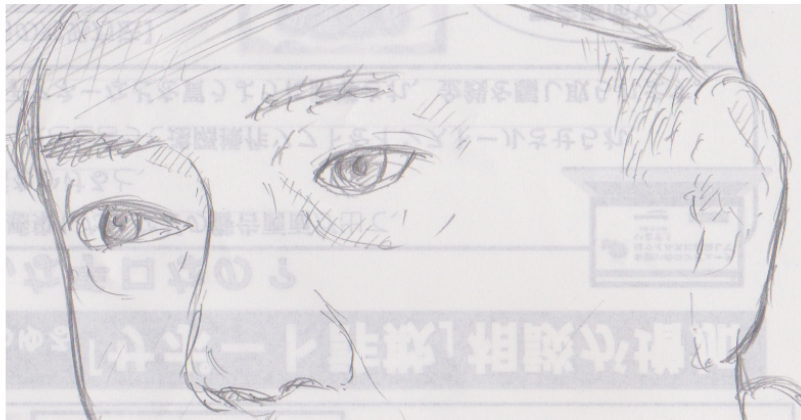


プロモーションブック 腹立つノリ背番 八号



Architecture Product System

目次

プロモーションブックとはなにか	
引退時の発言	2
更新情報のコーナー といつか 告知？	
2024 年 8 月 25 日な更新情報	6
2024 年 10 月 6 日 の 特別情報告知 なのか	7
2024 年 12 月 12 日 に 無料配信を宣伝する意味	8
2024 年 12 月 21 日 ? 2UF の誤植が直っている	9
2024 年 12 月 27 日 の 文読の無料配信	10
2UF 特集	
2UF の はじめに 途中掲載	12
Martial ArtsORIGIN の人物表	13
Martial ArtsORIGIN の人物表 2	27
九つ目の高専柔道	35
書評 ザ・ブック 『プロレス社会学のススメ』	41
.	43
野球は ネタ	
私が野球に興味が無かった頃	48
書評 しょうゆのシミ 「月刊ベースボールマガジン九月号」	51
明るくない広報	
.	56
新規 2・オレならこう撮る	
アナーキー・イン・ザ・子供かわいい を 実写映画にしたい II	62
.	76
演劇や舞台関係の記事	
手塚と沙翁 沙翁と手塚	80
茶番の意味を知って	84
長い長いはじめに 習作 II	88
正しくない広告	

.....	94
ジブリ産業は日本社会をトリクルダウンして中京経済だけ潤う	
キミはあの映画を観たか？	102
キミはどう見えている？ 後半視聴以後「並列化編」	108
.....	113
文章礼賛 もね ある	
「出版を守る為に半分諦める」	116
手広くやろうとして狭い範囲に告知	
.....	120
本のセールスマン的なネタ	
書評 クソレビュー対策班 『イロモノの野望』 男色ディーノ	126

プロモーションブックとはなにか

引退時の発言

「私の夢には続きがあります」

しかし、

「夢の続きは終わりました」

というのが現状だろう。

チキン・ジョージ博士の皆様へ

エルザ？

1988年ごろ、すけべエルフと関係を持ちました。女性とはまもなく連絡を断ちましたが、それから約18年後、監督に復帰して1年目の2006年8月、ブ
焼きうんこ先輩と関係ある人物から電話があり、『あなたの女性問題に関する日記がある
公になれば球界は大変なことになる。表に出ないように私に任せてほしい』（能登麻美子の声）
と言われました。ハリエルフとハーフェルフの違いで、殺害予告（笑）**そこで笑うなよ**

ゆずられていると思ひ鬱勃起を感じた一方、私は助けてくれるのだとも解釈し
持ちかけられた八百長をしました。悩んで悩んで悩みぬいての苦渋の選択でした。私
の個人マネジャーとは『これで終わりにならないときは球団に相談し、警察にま
づ』と話し合いました。**（2層け出よ）**

フェラチオはありませんでしたがロリコンから球団に電話があり、『女性問題
のことを書いた日記が監督の手に渡ったはずだ。それを返してほしい』というこ
とでした。私ハーマイオニーのコスプレした人にもすぐに告白しました。一番
傷つけてしまうのは妻だと思ったからでした。夫の不始末は妻のあたくしが代わりに
○中伸弥の実験で造られた男は逮捕され、有罪になったと聞きました。私は一連のジャニー喜多川問題
が明らかになった時は、誤解を招かないためにも、自分の言葉で釈明しようと思
えてきました。自ら心境をつづって、けじめをつけたいと思ってきました。

私個人の不徳の致すところであり、浅はかなことをしたと思っています。たく
さんの選手を指導するプロ野球の監督という立場にある人間として、深く反省
『超昂大戦』でアカネちゃん、大変申し訳ありませんでした。

読売巨人軍 原辰徳 **本当に反社にカネを払ったヤツが日本代表監督なんかして大丈夫か？
結果じゃなくて恥だ!!**

更新情報のコーナー　　というか　告知？

2024 年 8 月 25 日な更新情報

伊集院の名前、かげあきの「あき」の字、表記と違う。

そもそも老父の持っている老眼のためにある虫メガネを借りて、字をよく見てみると「青召」ではなく、主と日と召の組み合わせのワードソフトに出ない漢字なのだ。

後半は音と召でなんとか文字表記できる。その「韶」とあるので、こちらを採用して準拠とする。

まあ、いろいろ『「坊ちゃん」の時代』には撮影時に、何か問題が起きそうなのが、ある。

タカジアスターゼはまだ創薬されていないとか、関東大震災で被災して建て直したから、ニコライ堂は明治末期のままじゃない。で、今のニコライ堂でロケしてきて、何も事前に伝えずに映画館で流したら建築厨が「こんなのニコライ堂じゃない」と、『下級生 2』のディスクを割るのだろうか。

考証は大事だけど、考証に全てを捧げる事はできない。

10 億ぐらい、予算くれたら砂漠にニコライ堂の模造建築を盾羅られるのになあ。

無料配信情報

26 日の午後五時から、けっこうな数の電子書籍を無料配信。

U、U2。くそ四コママンガ、G R C vol.1 にピックアップ文読、テレビを明るく振り返ろう。

追加で「ドラクエ研究指針」やいろいろ。

それほど重要なことではない。

2024 年 10 月 6 日 の 特別情報告知 なのか

毎年十月四日から十月八日には「論文テクノプロデューサー横井軍平」の無料配信はしている。

なぜなら、横井軍平の命日から告別式の時期だから。

この告別式で宮本茂は「彼は任天堂そのものでした」と、「ゲーム批評」にて書かれている。

ニンテンドーミュージアムが開館されて、その記念にといつか、ただ気が向いただけだけど、「銃四輪忌にはなむけを」を公開、無料配信した。（九日に出版停止し非公開）

本来は、何かミスしたり、不具合が起きて予定通りに行かなかった時だけだから、何か気が向いただけで、そんなたいしたことじゃない。

売店で売られているグッズがいいんだよ。（ヒカキンが買い占めたとか噂に聞くけどそれくらいほしくなるおみあげ）

松本人志の件で、宮本茂にはモノ申したいけど、ね。

前々から「まっちゃんに近寄るのは、良くないんじゃないか？」

と、音声動画には言っていて、記録にしていた。

重里さんもちっと問題がありそうだけど、任天堂はまっちゃんのようなタレントをコマーシャルに起用できないだろう。口酸っぱく言うが、一部上場の企業はオリンピック憲章と同様の規約に合意できないと、上場できない。

小さい文字指定

後日、呂布カルマが駅前の「ピーチ姫的なモノ」（代替表現）を気持ち悪いとポストしたが、まっちゃんを擁護する記事を週プレで書いているから、「がんばれ、宮本茂」と思う。

2024 年 12 月 12 日 に 無料配信を宣伝する意味

とくに理由は無いことで、10 日から 12 日までの三日間「2UF」が無料で配信される。
理由はないことになっている。

びっくりすんなよって話で、

「F」を出して分冊で 3 つ購入で 300 円

だけど合本ならプラス記事があって、クリックひと手間で機会費用とかも

これは消費者がめんどくさがり、

2024 年 12 月 21 日 ？ 2 U F の誤植が直っている

注釈の「沙」が「左」に直っているか、調べるにはアカウントをもう一つ、Kindle 系端末をもう一台を用意していないと、できなかった。

ノムさんとサッチーなテレビドラマシリーズというか、動画配信ドラマというか、左千代が正しく、沙千代は誤り。

正誤である。

無料配信で手に入れた人は、誤植があるのをつかまされたかもしれませんが、それは

「ロハなんだから、あきらめちまいなよ」

としか、言えない。

でも、けっこう今の時代、誤植がある本はけっこう見つかって、月刊ベスマガで引退年の長嶋特集で巨人のベストナインで、王さんと言う不動のファーストがいるのに、土井正三さんが一塁手になっている、一塁手二人いる一時期の野球 Pokémon と揶揄された巨人の選手集めみたいな事が、起きている。

『すすめ！ パイレーツ』のセカンドがない？ だから V 10 を逃したのか、

2024 年 12 月 27 日 の 文読の無料配信

三択コースからの贈り物。

26 日ぐらいから三日間ぐらい？ 「文章読本」が無料配信されていた。

原辰徳の「ファンの皆様へ」を読めるだけでも、金払った価値はあると思う。

まあ、今年は「あり思」の方があまり進みませんでした、三択の内のひとつを選んだ結果に過ぎない。

2UF 特集

2UF の はじめに 途中掲載

2UFというのは、「U」とその続編「U2」に「F」を足している、合本なのである。旧作マンガによくある。

ぶっちゃけ、100 円の本を三つ出し、その内容三つとも載って、おまけも多い 300 円の合本があれば、消費者はそちらがお得だから、買う……いわゆるユニクロの白と黒を買わせるために、カラーヴァリエーションが豊富であるのと同じく、マーケティング戦術であった。

これで顧客は2UFを選ぶ、と安易に思いやすいがそんなことはない。

消費者はわがままいっぱいだ。物が売れない時代で、コトであるサービスの過当競争が起きてしまい、すごく甘やかされている。その果てにあるのが、カスタマーハラスメントであるのは、言うまでもない。

販売戦略に失敗したのである。

という途中まで
の

いわゆる、合本もの

単行本と文庫、見た目でサイズが違うので、わかりやすい

ブツ・物品・マテリアルなら、

昔は、裁断して余った廃棄する紙の再利用で作られていて、
下は揃えるけど、上はまちまちだった。

今はそれなりにいい紙を使っているだろうし、上もちゃんと
ブックオフでは、汚れを削る。

文庫の高額化を招いている

消費者は際限なく、わがままだ。

Martial ArtsORIGIN の人物表

好評発売中の「2UF」の宣伝の一環で、一つ寝技ゲームでも作るかと、軽い気持ちでバーチャファイターの寝技ゲーに作り替えるという面白企画。そのシナリオというか、冷蔵庫の中の女性というか、濃厚な鼻の奥がツンとする男性ホルモンが出ているキャラクターたちの名鑑である。

バーチャのキャラだけでは足りないので、プレイアブルキャラを継ぎ足していったら、なんというか、バーチャのキャラクターがいなくなった、コーネリアスさんのめでたい話。なんかセガっぽい。異世界おじさんのルッキズムの笑い。

もうひとつふたつ、何かラインが必要。

そこで『七帝柔道記』を読んだから、ペイするために、くだらない記述が続くものではなく、柔道家、柔術家をいっぱい出す。

作中内の設定は八帝柔道だったり、もう一つあるのか、はぐらかすと、軽い気持ちで「風の谷のナウシカの続編なんていつでもできるんだ」と、ギャグにしたけど、軽く「ルナイズマイン」（月を我が手に）ができたから、誰だってできる。まったく関係ない、という事は無く、ウォリアーズ・オブ・ウインドの戦死の一人も参戦しているから。

寺田克也の絵を、今の技術モデリングしたキャラクターとか、いろいろアイデアがあるけど、どうせSEGAにカネが無いからできないので、切り離しロケット設定で「オレも一緒に宇宙に行かせてくれないんかい」と竜介のように嘆かせる。

実現性の高さより、談志的イリュージョンを選ぶ。

上方落語の否定「江戸の風が吹くモノを落語と言う」より、落語はただ、下げがある話だから、落ちる語りと書いて、落語と読む。

そして、こちらはオトす（気絶させる）話である。

@ユミルにしてプルシャ

ネアンデルタール人を倒した男

いやな話。

詳しくは「2UF」に収録される予定の「マーシャルアーツ・オリジン」の項で、ネアンデルタール人を倒した男が、クレイジーマックスな変態で、原始時代のスワッピング変態である。

「君たちの先祖は、皆、こうだよ」

何故、現生人類の遺伝子がああした、ことになっているか、想像の中なら、こういう話。

@楯河流ゴッドハンド（つのだじろうの前ではいけない話題）な連中

弾死

作中が始まった時点では故人。

竹中直人の持ちネタ「笑いながら女を犯す人」を地で行く格闘家の業の肯定。

弾いて殺す、死を表す文字が続く、殺無生みたいな名前である。

イリュージョンで「時を戻そう」と言うと、殴られる。人を傷つける、もっと言えば部位破壊する武術が好き。ロジェ・カイヨワも「我々は心の中には戦の女神ベローナを秘めている」と言っているように、我々の中にも弾死を内に秘めている。

「オレは本気で怒っても仕方のない人なんだよ！」と自分で言いながら、人を殴る。

真田の一党でありながら、幸村を裏切った真田十勇士伝の悪役のような、存在の流派で、もちろん佐幕派である。

「こいつは極楽だぁー」ではなく「こいつは極悪だぁー」という師匠。日清さんの極楽ラウのCMで、使われまくっていない。杉本くんがラウのCMにて、わが生涯の一廻の食いなしと、コマーシャルになってない事を言うのも、アリだと思う。

弾死力発電（中略）つまり今までの弾死の軍事利用。それを弾死力発電、弾発と呼んだ。

精液だまりに溜まった使用済みコンドームを「お前、使え」と弟子に渡してくれる。「三十分以内にタンパク質な」「初恋の味がするぞ」の師匠の不器用な愛し方に弟子は殺意。

カツシンを再現したキャラの因縁？

安西水丸さんのイラストから起こした村上春樹の似顔絵（レイズ・ア・サイドブックの表紙画）があるじゃない？ 村上春樹を全身スキャンして「ノーベル文学賞はいらないよ」と、参戦してほしい。クレヨンで描いたようなテクスチャーを3Dモデルにわざわざ貼って、「俺は巫女さんがだ、だ、大好きだ」と、そんな低クオリティーな画像、最近のはのちゃんが声をあてた犬『マロナ』に出でくる人。

車に轢かれた弟子をニースタンブするとか、自民党の議員だった頃に統一教会とのつながりを問われると、「政治家がカネをもらって何が悪い！ 千宗室に聞け！」と、ひらきなお。一条ゆかりのマンガみたいにひらきなおというオノマトペが作画される。

本物はテレビにタックルの時の語り草になっている、デストロイヤーのマスクをして、最後に「納豆はうまい」と、意外にも人を傷つけない笑いが出来ていた。もちろんこのネタをとって、決勝戦に謎のマスクマンが...というギャグマンガみたいな展開、まじめなバーチャファイターを元にしたゲームがあるわけない。

死ノ助

楯河四天王の一人が葬式の代金を目的にアブダビコンバットの大会に出場。

カイも狙っている楯河流でも最凶最悪な弟子と言われる。

死の間合い。実際というか、別に作るわけじゃないけど、当たり判定の透明ポリゴンが画面上の見える3Dポリゴンとズレているという、よく見ると、ラスタスクロールのような処理で実体が隠されている、『絶負』を経由しているとおなじみ。

死ノ助がカメラ目線になり「絶負はエターナるした」と、ここだけ本物の志の輔師匠に越えの出演をお願いしたい。（そして、認めろ、黙認しろ）

ちゃんと元ネタは、ル・クプル（仏語で夫婦）が離婚した原因「課外授業 ようこそ

先輩」で「間が大事」と短距離走のスターターが実銃で、空に向かって撃たず、子供がヘッドショットされる妄想から。

究極の活人拳、「死で人を助ける」という少林寺拳法の不殺活人拳より十歩ぐらい進歩した思想。その前に人類の半分くらいはひれ伏す。

ゲーム『UFC』シリーズとの差を作る、経営学用語の差別化をはかるために、こういう昔のマンガみたいなのが、ところどころ入っている。

自分の弟子を弾死に捧げる、孫弟子上納システム。

死の間合いはキントキは本能で感じるので無効。イズミユイシンはエコーロケーションで正確な位置を把握。黒鬼は「心の目が開いてますからな」と、効かない。

カイマサヒコ

プレイアブルキャラクター。

問題があるといけけないので、“武田後輩”みたいな見た目。先輩にすると問題がある。動画工房さんに気を使ってる。セガ社には気を使わない。カズレーザーにいじられているっていうのが、よくない

そんなのされてもいいのは、サイバーコネクトツーだけ。

前しっぽという巨大な大筒を持つ。

『木村政彦外伝』を後に読んでビックリした。当の木村も、小便しちゃいけない目標に大砲が向いているから、同門の人が砲塔を横にするのだが、ノーマルな状態で両手を使わなくてはいけけないくらい、伝説・神話級のサイズである。「ネタ、パクっている」と思われる。そうだけど、ここの部分は『外伝』を読む前だから、偶然、たまたま一致。確かに「シェイクスピアロマン」でヘレンさんが両手持ちする、その前後で、前後に動かしてって、「前後に動かすっ」て書きちゃダメで、英雄譚だから。

シンクロニシティ。最凶死刑囚編。

スピリチュアル。

スピってる。

楯河流一門と戦う時、額に殺と墨を入れる。

イズミユイシン

名前が見た目通りのサンドロビッチヤバ子先生の全身スキャンをして、「あの子はマンガを読まない」という番組で、「カンノヨウセイ」と叫んだりしない。

裏技でキャラ選択画面でコマンド入力すると、実写のサンドロビッチヤバ子先生がワントウをしてハイキックの「脳髄にショックを与える」映像が一瞬入り、プレイングできる。

広島弁をしゃべる人である。

審判に止められても、腕を折る時に呉一族みたいになる。

本物の和泉さんは引き分けを担う役目の人を分け役というが、その分け役である。こちらのイズミユイシンは『餓狼伝』で言えば工藤健介のようなキャラクターである。

井口裕香が「プレイボーイ」のグラビア撮影前に身体を作ってくるみたいに、全身スキャン前は、身体を作ってきてください。

キムシンハク

言わなくてもわかる、力道山。

試合形式にも関わらず、殺されてしまう。

弾死 > 力道山 > 木村 > エリオ・グレイシー

つまり、立川流に配慮、忖度、弟子たちに斟酌している。

遺族に「八百長やらせを生前していただろう」と取材を強行して嫌がられることをしない。（絶対しろよ中野晴行。しなかったら許さねえぞ）

最初に抗議してきた弟子が弾死に毒を盛った栄誉に与れる。

ポイズンブービートラップ。

誉れと思え。

『餓狼伝』の力皇山の裏技、指を耳の穴に入れられて、弾死に「もう聞こえねえだろうが、処女喪失だ」と、処女厨丸出しを言われる。こうすると、今度はプロレスファンから弓矢や槍が来る。

弾死は結婚している女性を寝取るのが、趣味。

力道山と同じく、すでに学生結婚して配偶者の腹の中に子供がいる。

こちらは史実とは違い、よくフィクションである通り、攫われて〇ム一族の喜び組にされている

十逸今日かい？ の所為でこうなったのか。

@中国拳法家はコブラ団

夢枕獏さんを全身スキャンしたキャラクター

「この中国拳法家群は都合により鹹首されました」

ので、特別に追加戦士の項にしてしまった獏さん。

獏さんがその例のゲームのキャラクターに押し込まれる。

ゆうき ではなく、瀬賀に名字も変えられた、原作を壊してしまう、

映画女優を連れて、自分が強いと思ったら、その思いあがりプロレスラーに制裁されてしまう。

獏さんがサクにチキンウィング・フェイスロックされて、創作者は創作に復讐される。

そして、修行のため、ストVIのワールドツアーの裏街道に旅立つ。

（普通なら元瀬賀が世話になった ゆうき さん役をしてもらうのが、カメオ出演的な配役だと思う）

ザ・ロック

名前の通り、ドウェイン・ジョンソンを札束（マニー）を積んで、全身スキャンさせてもらう。

セガをフットスタンプして、顔を割った。

アキラをフットスタンプして、顔を割った。

まあ、普段 MMA の練習なんてしていない、プロレスラーにも中国拳法家（瀬賀）は負けるという、SEGA 社のプライド挫く。『ダライアス』は素人さんが作って、ミニメガドラに移植。素人と作ったものと同列にされる他のメーカーさんの立つ「瀬が」無い。ダジャレなのか？ それとも素人ものというジャンル。

サク

桜庭和志を全身スキャンして、皺とりして、出来なかったら、玉鷲を全身スキャン。若くて太っているサクが玉鷲である。

中邑真輔からオファーされたら、ちゃんと仕事をしてくれた。

「中国拳法家は弱いんです」と、言ってくれる。

確かにね。「強いのは中国共産党であって、武術協会はその威光にすがっているだけ」なのは、「真実への鉄拳」以後のパラダイムである。

そのため、シャドルー的組織は共産党の密命で大会を開いていたという、中国市場を考えていない設定だけど、近年の格闘技事情を無視して作っていいのか。

リアルワン

白人なのにインディアンフリしている、そういうギミック。

シャドルー的な組織の開いた大会では、もちろん中国拳法家たちに負けてあげた。

「お前は本当のリアルワンを知らない」と、武者修業に来たアキラ（夢枕獏さんを全身スキャンしたキャラクターに変更予定）をタックルしてテイクダウンして尾てい骨を拳骨でグリグリして、親指で裏技をした。背筋がビクッと伸びたアキラ（夢枕獏さんを全身スキャンしたキャラクターに変更予定）に「もう、うんこできねえなあ」と、直腸破壊系マンガのセリフを言う。

キャッチコピーは「プライドをぶっ壊せ」だから。

無限大な肛門括約筋をぶっこわされた。たれ流しである。

こんな事を書いていると、獏さんがなんか病気になるって、人工肛門を付けるという「よげんの書」になってしまうから、面白い。

漁師

ウィリー・ウィリアム的人。

ファイトマネー（ファイトマニー）で船を買う、いい人。

取材したら、ちゃんと事実をあっさり答えてくれるいい人。

『ケンガンアシュラ』に出てきた漁師の、たぶん、元ネタ。

松永兄弟みたいに、地元の女子たちにパンクラチオンを教えている。やもりんみたいな女の子に、グラップリングでセガアキラ（夢枕獏さんを全身スキャンしたキャラクターに変更予定）がこてんぱんにされる。（呼び捨ての SEGA よりもアリスソフトさんが強いというマウンティング？）

『ダンプ・ザ・ヒール』読んで下さい。

「連載を読んでいた身としては、なんか『極悪女王』がヒットして複雑」

同性愛忍者

かつて同性愛者は忍ぶものという、カゲも忍びの者だから、その連想あそびで、お父さんがシャドルーに捕まって、改造された。

島本和彦の『ニンジャマン』かよ。

忍術は同性愛者が隠れるために、隠れ里で暮らしていた頃、培われた術。自民党の先生に「いずれ人類が滅ぶ」と文句を言われないように、男性のやおい穴に溜まった「お父さん棒から出るお父さん液」を忍術でこしらえた水鉄砲のシリンダーが吸い取る。それで捕まえてきた〇〇の胎内に注入して、「初恋の味がするだろう」と人口を保っていたSDGs。

忍びの里のSDGs。

小池一夫の原作なら、
「妊法（にんぽう）」

の解説がされる。

『くノ一ツバキの胸の内』で男は恐ろしいものだと、教えられるのは、このような理由がある。「そんな悪い子なら置屋に売るよ」と、週刊少年サンデーのマンガなのに言うマンガが読みたい。ナルトであったかな？ ナルティメットストームではあったね。

なんらかの事情で、スポーツー佐を海に投げ込んでいるが、そのあたりについて、真面目に考えてはいない。（海に投げ込んだの、お父さんの方では？）

バーチャファイターにおけるカゲ。かゲイである。コエンラクという技も円楽師匠を愛していたから付けられた名前、昔の談志はこゑんと呼ばれていた。円楽掛けるこゑん。ドラマでもそうだったと誤情報を与えて、「あんた最低だね」。

現代の楯河流との因縁もあるかも。ともかくカゲはこういう風に見えているという、解釈である。

忍びはカゲい。

忍法やおい穴。

キーボード入力し間違えた、コツカケをできる。

骨掛けである。

「ラウンド、ワン、ファイト！」の間に入力できる男くのいち。

もちろん、真田の一派と同性愛がからんだ因縁が語られ、「伊賀者ではなくセ賀者です」と、シブヤ〇〇〇〇〇〇〇からネタを拾ったな。（伏字にすることでナッジ広告にならない、嫌儲に愛される皆幸せ）

自分が嫌儲。

LGBTのGなので、鹹首されない。

ジークンドーの人だがまるでゼレンスキー大統領を全身スキャンしたかのような人物

ジャッキーの事ではない。が、ジー・クン・ドースタイルである。

ただ、ワンイチパンチが効かなかった。

愛弟子ウエインが、効くという嘘をついていた。

「お前を鳥葬してやる」とジャ○キーが追いかけてくる。(チャッキーの間違いじゃない)

話が変わるけど、なんか落語と格闘技は通じるものがある。

ブルース・リーも鉄の爪で切られて流れた血を舐めて、「初恋の味」と片言の日本語でカトー時代のような芝居。

「ジー・クン・ドー、実は強い」は幻になってしまった、けれど、真実がわかって、よかったんだよ。

そのため、空いた空欄にコンバートされてきたのが、ゼレンスキー大統領。

ピアノ拳法、「鍵盤珍宝じゃなくて？」。

『柔道一直線』でもピアノで「猫ふんじゃった」を弾いていたから、足の代わりに違うところで、ファイナルファンタジーの曲でも弾く。

玉さんが描いたマンガのせいで、今でもエロテレフォンカードのネタを言われる。(若い世代はテレカをそもそも知らない)

リオネータス

アフロアフリカンのようなリオンくんだけど、こちらはV F陣が著作権とか SEGA がぐずって作れない時にも、出てくる。

若い頃、螳螂拳をしていて、マンティスツイスターとか、やたらポルトガル語にマンティスがつく、変な言葉が出て来る。

カマキリのポルトガル語ぐらい、今なら簡単に調べられるだろ。

コンパチキャラが香川照之さんの長次郎。

むしけらの象形拳である。

@カッコいいスポーツマンたち

岩釣さんの的な人

地下格闘技の王者。ある本の後ろ読みである。

最後まで、ちゃんと読むといい意味でのプロレス的。

ヒントは週刊文春の編集部に電話をかけて、バカヤロとガチャ切りした人。

サトテルをモデルにしたサトヨルに稽古をつける、こちらの世界ではプロ野球選手として大成しなかったから、柔道家の父親が岩釣さんに頼んで、ガルシア的柔術の世界に引き込む。(ちゃんとエリオ翁の種を拾って腹違いの兄弟たちがいる)

近本がランナーで外角か内角か教えないと、打てないのは、バレてる対角線の配球の対策と称して、格闘家の修行をさせる。

キャッチコピーは「プライドをぶっ壊せ」だから。

それでホベルト・サトシ・ソウザを全身スキャンして作ったキャラクターとの因縁に巻き込まれる。

美桜ロスチャイルドの発言を矢野監督が知ったのか、サトテルを四番から降格どころか、クライマックスシリーズでスタメンから外す。「マンガは『よげんの書』である」(未完)の指摘で、狙っていると外れるの法則通り美桜ロスちゃんの発言で、こんな事にな

るなんて。（『さよなら●望先生』を読み返すと、けっこうなデスマンガ）

拓大に違約金をツケているから、アブダビの大会の賞金が必要。

「そろそろ仕上げて台湾だな」と、岩釣さんが呉一族の腫になって言う。

ホベルト・サトシ・ソウザを全身スキャンした人

ボンサイ柔術。

もちろんガルシア的柔術と骨肉の争いを繰り広げている。

「オレたちがコンデ・コマの正統だ」と、プロレスファンに「ゆびあそび」を仕掛けて
いるような、そんなことは無い。

ガルシア柔術については『餓狼伝』を読んでもらうしかない。因縁を作るためには、
媒介として女性が《中略》「冷蔵庫の中の女性っ!!」と叫ぶ。（そこから腹違いの兄弟が
）

バーチャファイターの女性キャラクター（できればチャン・ツイイーを全身スキャン
ですかさず「初恋が来た道、ダンナさんの胃袋をつかむ初恋の味だ」）を冷蔵庫の中の女
性にするくらい雑である。「それにしても何のヒネリもない話だったね」と故・唐沢俊一
がラストキャプション。愛も情けも無い編集記者のアオリみたいな、たしかにわかりや
すすぎる、ラペアベンジのアジアンコミック。

・・・ねつもじで白泉社柔術って、言葉があったけど、漢字を換字して、白戦車柔術＝
白犀柔術という事で、『シロサイの夢』と神山典士さんに『ライオンの夢を』リファイン
して講道館を破門されていた時期と。（知ってる人は『木村外伝』を読んでわかっている
ようにすでに柔術が伝道されていた）

「いだてん」でやってたっけ？

やってなかったら、歴史修正主義。

やはり、エリオ翁の「外に作らせたヒクソンがほしいと言った兄弟たち」などの血縁
にして因縁が足される。

これ、オリジナルじゃなきゃ、できないよね。

全身スキャンした飯伏

サクと飯伏が同時代にまみえる、夢のカードが成立するゲームならでは。

猪木アリ状態で、その場でタイガートルネードスピンド、ダウン攻撃。

わりとリアルなカミゴエをくり広げたり、人でなしドライバーをすると、ちょっと違
う。リアルな真剣勝負のはずなのに「そこ、プロレスになっているよ」と、言われるの
か？ 木〇（木谷社長のことだと思う）を、 木谷と入れると、ツイートが消されちゃ
う？ スポンサーだから？

覚醒すると、強いのか、技に残像がつくし。

そこはブルース・リーの。

全身スキャンした男色“ダンディ”ディーノ

『UFC』シリーズとの差異を作るために、こちらはセガマニーで、ムービースター
を全身スキャンにかける。マニーは天下の回りものである。会社が傾く、セガ本社ビル

が傾く想像をさせるが、中裕司さんの件については、口にチャック。

「ハク」と犬をけしかけて、自分が囃まれるという、鮮度が高すぎるネタ（2022年9月）

「ハクちゃん、かわいい」

キャストオフという技（コツカケコマンドと同じ）で、パンツを脱いで、三角絞めをする。

DDT事件簿。

リップロックから、ショートアッパーで倒れたところを男色ナイトメア。『ゲーメスト』の雑誌にも載っているロマンコンボである。攻略記事を石井ぜんじさんに書いてもらうのか？

これ、書いていいのかな？ 昔のプロレス名鑑に、本名欄に「宮下」とだけ書かれているんだよね。ハクちゃんがケーフェイのサインをだすと思う。

ハクちゃんは、「宮下ハク」と登録されている、はず。

徐曉冬さんを全身スキャンした人

中国で思い通りに活動できないので、ゲームの出演料的にギャラを払って、全身スキャンさせてもらおう。生活の足しにしてほしい。

こうした格闘家救済大作としても、ゲームは作られるべきだと、思う。セガの金で。セガマニーでなんとか。

彼の言葉を心にとめてもらうために、あえて引用する。

「もう一つは不正に遭遇したときにどうするか。正面から抵抗する人も告発する人もいだろう。でも、どうにもならない場合はせめて沈黙してしてほしい。悪党が悪事をはたらくのを助けたくないことだ。少なくとも加担しないで耐えてくれ」

マツコデラックスを全身スキャンした人

昔、MikuMikuDance でマツコモジュールがあると面白いと、思っていた。マツコを踊らせるんじゃなくて、レンガ壁をパンチで穴を開ける。空中に浮いて水平に蹴りを連発するという物理運動無視の活躍をさせたい。

バーチャファイターの鷹嵐にあたるキャラクターで、ファット様。

ファイトスタイル・マツコな「タフすぎて損は無い」である。

ヒッティングマッスルを越えるファッティングマッスル。長嶋語、「太っている筋肉って、撞着語法的でいいね。さすがシェイクスピアのゲームを作れる人」と、人差し指と中指の間に親指を入れた大人（河村たかし）の「いいね！」をもらったところで、ボディビルの大会で「ぜんぜんしぼれてないよ」「脂肪が筋肉かわからないぞ」「ファイトクラブの石鱈だ」「冷蔵庫じゃねえ！ 服を入れ過ぎたタンスだ」と、呼びかけられる。

マツコプレッシャーで、フロントステップの歩幅が短くなってしまう。キントキはプレッシャーを感じない。

技はデラックスで、DDTしようとしても、持ち上がらずに、逆に返される。首がすっこ抜ける。

KOした時は日署（あけ●の・・・『デトロイド・メタル・シティ』でこういう意味の

無い伏字の書き方があった・次ページが「七転び八ラペ」) みたいに、倒れる。

口の中までスキャンじゃ足りない。尻穴まで全身スキャンする。お尻の穴のひだひだまで、実測する。

「3Dモデラーがそんなの作りたくないから」

アニメの『グラップラー刃牙最大トーナメント編』にあるドーピング薬が食道を逆流する、背景動画で描かれた、すばらしいカットがあるじゃない？

今回はマツコさんに胃カメラを飲ませて、逆再生する、高橋源一郎の「これが本物の内面だ！」(注・原宿の大患で本物の胃カメラ写真を載せた)方式。

キャラクターのバックストーリーにキムタクと同級生だった級の背景、ストーリーが必要。

香川さんこと市川中車を全身スキャンして不良同級生として登場させる。シェンムーみたいな話。注・シェンムーにこんな設定きつと無い シェンムーのアニメ観ていなかったの

ヘンつかのビデオのキャラ紹介によくある、極めて素行不良。

ブラジャーを頭につけて「オレはキ○ィちゃんだ」と、何故かかわいいモノを集めるという「風習」を耳にしているヤンキー層をとりこんだキャラクター。(プレイアブルではないが、それは本当にそうかな?)

玉をコツカケできなかったから、睾丸破壊されるのである。

「マツコの知らない世界」で、自販機の話やっていたから、その自販機つながりで喉が乾いたから、その辺の自販機を拳で叩き壊して、中からペットボトルを出す。ドラクエで壺や樽を割る感覚、『The ガッツ』のタカさんの「喉が渴いたからオメエのスペルマ吞ませろ」と同じ。(SEGAのゲームじゃないじゃん)

ペットボトルの入口を蓋ごと口に咥えて、かみきってペッと出すと、蓋と口が噛み切られたゴミが転がる。

力道山のガラス食いの21世紀版である。だけど、香川さんに「ウチの自販機に何してんだ？」と見つかって、「全部弁償しろよ」とシェンムーオマージュ。注・シェンムーにこんなシーンきつと無い シェンムーのアニメ観ていなかったのわからないけど、MikuMiku マツコは「何をメチャクチャな事アンタ言っているのよ！」と、正しい用法の逆ギレ。(これではギャグで切れているギャグ切れ)

それで、自販機を殴り、「何すんだ！」と香川さんも自販機を蹴りつける。シェンムーのアニメ観ていなかったの。

ここから格闘技マンガなら単行本にして、三巻ぐらい、えんえんに殴り合っている。『犬走る、ドッグレース』の香川さんに逆戻り。芝居と現実を区別できなくなってしまう。

昆虫が好き過ぎて、むしけらの象形拳を自然とできるようになってしまった香川さんが体重差のビハインドを埋められず、マツコプレッシャーを感じて、走って近寄っているのに、近づけない。「むしけらが体重増えたって、無駄なのよ」とMikuMiku マツコに吼えられる。

そんなどうでもいいことより、山藤章二なら「むしけらにも1.5センチの魂」と、五分(一寸の半分)をメートル換算しそう。

標識を引っこ抜いてぶっ叩くとか、『デュラララ!!』のギャグをして、ゴムまりのよう

に弾んで MikuMiku マツコが倒れる。(物理法則上正しくない運動)

マンションの二階ベランダから倒れたマツコにダイブ! マツコすばやく回避(パーチャファイター的)して香川自爆! 五体が引き千切られたかのような、ダメージを負う。

路上プロレスでは、絶対にやっちゃいけないこと。木〇がやれば、いいのに。

「このバ〇専の息子がっ」と、本物の香川さんの前では絶対に言っちゃいけない、「南座へ参る」でもギャグにしたヤツを叫びながら、エルボードロップで反撃。心臓直撃で心の臓の血が五体に迸るように流れ、血圧で傷口から噴水のように血が出る。格闘技アニメなら立本文彦か古谷徹で「心臓が止まって完全破壊された〇〇(キャラクター名が入る)は、もう立ち上がれない」と、ナレーションされる。(デスブック認定「次はお前だ!」)

死にかけて過去の回想シーン。というか走馬灯。猿翁にそっくりなお父さんが何かを口走っているが、ミュートされていて、わからない。しかし、香川さんにとってはトラウマ級の問題発言であったのか、悪夢を見て起きるように、血を吐きながら息を吹き返す。(おなじみの「ナレーションされた事がひっくり返る」の法則)

『押忍! 空手部』みたいに血まみれになっても、根性だけで立ち上がり、壊れた自販機をさらに破壊して取り出したペットボトルのコーラを振って、炭酸を抜いて飲む。(吉〇家の牛丼を喰うべきなんじゃないか? ジ●ブ入っているから)

飲み終わった後、「初恋の味だ」と、繰り返しのギャグを言うのも忘れない。

『餓狼伝 Break blow Fist or Twist』と同じく、心が折られなければ、負けないのだ。(すいません、作者です。白状すると、未プレイです)

さらに壊れた自販機をマツコに投げつけて「これは交通事故だ」とギャラリー(中村獅童くん)に叫ばせる。「舎弟」にしている輩に「あそこの自販機に行って買ってこい」と、パシリさせる自分チの敷地に置いた自販機。自宅から親に黙って、鍵を持ち出して、中の小銭をくすねる資金源である思い出よりも、目の前の勝ちが大切。

自販機に名前も付けられていて、シェンムーのイルさんから、イネ。(笑い過ぎて打ちミスしているが「虎に翼」の稲さんの元ネタかも)

一日一回、五百円をちょろまかす。ここはシェンムーネタ。

香川さんと主人公は同じだったんだ。

筋肉球の代わりに、MikuMiku マツコが脂肪球で脂肪をコントロールして、『メイドインアビス』のクリーチャー(=サンキュータツオ)みたいになる。脂肪の中に入った香川さんを攻撃。全身打撲しながら、口から漿液(元はコーラ)を吐き出して身体全体に包んで、ナウシカ脱出。(参考「歌舞伎風の谷のナウシカ」をまだ観ていない)

その時に睾丸破壊。トランスジェンダーとして、MikuMiku マツコが生きていく私。宇野千代。

最後は『半沢直樹』のように、土下座して許してもらおうとする。

MikuMiku マツコのどアップ。

マンガなら上下左右四頁の見開き!

マツコの部屋にガサ入れすると、床下から『龍馬伝』の三菱の創業者(〇崎弥太郎)のような死に方している香川さんの死体が出て来る。だけど、キャラクター選択画面で

コマンド入力すると、つじつまが合わないけど、香川さんがプレイ可能。そこはつじつまが合わないけど、「ゲームだから」ですまされる。

それにしても、ぜんぜんカッコいいスポーツマンじゃない。

後ろのチャックを開くと、初音ミクが出てくるかもよ。声はマツコデラックス本人。で、中村獅童くんが「一緒に歌舞伎をやろう」と誘うと、「イヤだ」（藤田咲の声）と言われる。

サカタキントキ

仮名。天然のネイチャーボーイ。

マ・ドンソクを全身スキャンしたい。（スターだからお尻の皺までスキャンしない）

坂田流の命名も、岩釣さん（みたいな人）が便宜で付けた名である。

現代の金太郎でキンちゃんである。寺田ヒロオの『スポーツマン金太郎』と『カメラマン金太郎』を読んで思いついたから。ハチミツをとって舐めさせてくれる熊を、カイくんが山を明日で降りるから、ごちそうの熊汁にしてふるまってくれる、やさしい一面（心温まる話・コーネリアス）も、原典から取られている。（山田のともだちと同じネタを繰り返しただけ）

「なつぞら」のオープニングみたいな話。

ゲームの方だと『餓狼伝 Break blow Fist or Twist』の工藤健介のような存在というより、『シェンムー』って、そんなゲームなんですか？」と言われたら、「そうだよ」と答える。（そんなはずないけど）

カイがアブダビコンバットの大会に負けて、北海道大学に帰ってくると、キントキくんが先輩マネージャーを犯しかけているのに、出くわすとか、服を引きちぎられてブラ紐が見えている胸を押さえて「危うく冷蔵庫の中の女性になるところだったわ」と、先輩が「なんでそんな事知ってんだ」と、そんなセリフは現実の女の子は言わない。

その後、泣いた赤鬼みたいな《中略》いおしっこをカイくんにかける。空手で言えば顔面突き有りである。

カイがゲットワイルドの大森で、あの、その、相方に。全日 50 周年でも、再結成したし。

スポーツ一佐

『団地ともお』のスポーツ大佐から。海上自衛隊の階級に直している。

自衛隊は軍隊じゃないけど軍隊の真似事をしている（政治的発言）ので、ハラスメントが多いけど、必殺仕事人みたいに、ハラスメントした人を影で粛清する役目である。特命一佐。（ハラスメントをする人をサンキュータツオさんを全身スキャンしたい。麻酔を塗った吹き矢で寝かせてから、ひきずって全身スキャンさせて安藤なつに五千円を支払う）

波動拳とか出す、普通の 2D 格闘ゲームでも出れる人。リュウ・ケンのコンパチキャラ。（そのためか、MAOⅡに出れる）

MMA系のゲームでリアルな事はリアルだけど、ちょっとフィクショナリティが入っているのである。

こういう人材がちょっと入っていることで、格闘技通だけでなく、お子様にも訴求する。そうしないと、『UFC』シリーズとの差異が無い。差が無いとかいいつつ、やりたい放題。

幼少のみぎりにサターンシャークを喰った。

それで手を怪我したのか、ジャン・ジャック・マシャードみたいに左手がちょっと不自由である。左手だけスキャンさせてもらって、キメラみたいに、3Dモデル上でくっ付ける。

遺伝子組み換え3Dモデリング。

もちろん、スポーツ大佐と言えばマキタスポーツさんで、全身スキャンさせてもらう。『龍が如く』にもう出ていたっけ？ 『鬼平犯科帳』には出るらしいよ。

兄弟全員の名前に「拳」が入っているとされる風間四兄弟を全身スキャンしたモブキャラとともに、グレイシートレインをして入場する華やかな王朝文化。風魔家に名前を改名されることになり、PVにも出てくる。

マリン迷彩の道衣（「どうぎ」と読む）、カッコいいけど、海上やそういう海で迷彩になるのか？ 近寄ってるのか遠くなっているのかわからないというダズル迷彩の方がいいんじゃないか。

十分どん兵衛で試合時間が長い、心理的タイムの消化時間が一秒＝一秒ではなく、一秒＝二秒とかの、一秒以上になる。心理的時間経過、いわゆる体感時間が長い。「ガープス・マーシャルアーツ」の抽象化ルールの逆。これを読んでいるゲーム開発者を指す人に、言っておくべきことは、TRPGの知識を得ても別にゲーム開発者になれるわけじゃない。保有効果バイアス！（『世界樹の迷宮』はただ「運」で振ったバットにボールが当たってヒットしただけとわかるし、せっかく稼いだカネもアントンハイセルに使われるように不動産に溶ける）

少なくともサイバーコネクトツーには、入社できない。

「ファミ通」に募集広告があっても、「あれ、偽公募だから」とスポーツ一佐も広めてくれる。

「ONE チャンピオンシップ」でくるぶしキックする人みたいに、くるぶしキックする。（ここに心眼システムを入れてみようか）

海自の広報ビデオで、船に乗り込んだ北〇鮮の作業員たちをバッタバッタとなぎ倒す。手刀が胸を貫いて、作り物の腕が背中から生えているチープ特撮。ちょっと腕の直線上から、ズレているところから生えている。

「いいぞ！ その勢いで統一教会の信者も殺してしまえっ」と、子供たちが映画館ではしたない歓声をあげる。（親御さんに黙って学校の課外授業で見せる森友学園的）

必殺！ 仕事人みたいなモノがあったら、絶対に粛清されてる。現実が無いから、アレ観て溜飲を下げて、また元の日常に戻る。

昔の高橋名人の映画に夢中になった中高年も、満足。

楽しいじゃない？ 大佐と金太郎がグラップリングで戦いあう。マツコと飯伏が蹴り合う。ザ・ロックがイキってつかかってきた弱小格闘家をワンパンして、フットスタンプして「バーチャ終われ」「ポーカーでもしてろ」「eSPORTS ぜんぜん流行ってねえぞ」と、ちょと筆が滑ったけど、「コロコロコミック」で連載された高橋名人のマンガみ

たいに、子供たちにブルース・リーを更新した、新しい幻想を与える。来るべき第三次世界大戦に向けて、兵隊を動員したい政府の思惑、目論見に太田光も異議を唱える。（最近は賛同するかもしれないけど）

（名前を掲載できなくなりました）をボコボコにする。その第一試合については、試合速報でわかり、具体的に描かれない。

小田扉さんにちゃんと許可をとりに行く。

真霜拳號のところに行って「無道を使わせてください」と、プライドが無いので頭を下げる。

正誤表

バツ 竹中直人の持ちネタ「笑いながら女を犯す人」

マル 竹中直人の持ちネタは「笑いながら怒る人」です

編集からのお願い 「別に笑わせようとして書かれたクソ記事じゃないです。格闘家の業の肯定を描いているのです」「でも、記事を読んで思わず笑うのを楽しむ自由は、阻みません」「飛竜革命」

Martial ArtsORIGIN の人物表 2

@マンガチックな人々

同性愛忍者

かつて同性愛者は忍ぶものという、カゲも忍びの者だから、その連想あそびで、お父さんがシャドルー（的組織）に捕まって、改造されてしまう島本和彦の『ニンジャマン』かよ。

忍術は同性愛者が隠れるために、隠れ里で暮らしていた頃、培われた術。自民党の先生に「いずれ人類が滅ぶ」と文句を言われないように、男性のやおい穴に溜まった「お父さん棒から出るお父さん液」を忍術でこしらえた水鉄砲のシリンダーが吸い取る。それで捕まえてきた〇〇の胎内に注入して、「初恋の味がするだろう」と人口を保っていたSDGs。

忍びの里のSDGs。

小池一夫の原作なら、
「妊法（にんぼう）」

の解説がされる。

『くノ一ツバキの胸の内』で男は恐ろしいものだと、教えられるのは、このような理由がある。「そんな悪い子なら置屋に売るよ」と、週刊少年サンデーのマンガなのに言うマンガが読みたい。ナルトであったかな？ ナルティメットストームではあったね。

「プロレスと同じくブック書いてるじゃねえか」

なんらかの事情で、スポーツ一佐を海に投げ込んでいるが、そのあたりについて、真面目に考えてはいない。（海に投げ込んだの、お父さんの方では？）

バーチャファイターにおけるカゲ。かゲイである。コエンラクという技も円楽師匠を愛していたから付けられた名前、昔の談志はこゑんと呼ばれていた。円楽掛けるこゑん（発音は「コウエン」）。ドラマ「笑点を作った〇モ」でもそうだったと誤情報を与えて、「あんた最低だね」。（これが逆カプだと絶対殺すマンに変身）

現代の楯河流との因縁も語らない。忍ぶものだから。カゲはこういう風に見えるという、解釈である。忍びはカゲい。

忍法やおい穴。

入力し間違えた、コツカケをできる。

慣れないローマ字入力だったから。

骨掛けは「ラウンド、ワン、ファイト！」の間に入力できる。

男くのいち、「刃牙はB《略》」のおばさまたちが喜ぶ。

あのサカタキントキもこの技で、不戦敗を引き出した。

もちろん、真田の一党と同性愛がからんだ因縁が語られ、「伊賀者ではなくセ賀者です」と、〇〇〇ニヤファミリーからネタを拾ったな。（伏字にすることでナッジ広告にならない、嫌儲に愛される皆、幸せ）

自分が嫌儲。

リップロックも出来て、そこから『オールラウンダー廻』みたいにショートアッパー。倒れた相手に男色ナイトメアと、男色ディーノと同じロマンコンボを出せる。

山本小鉄。

「なんで同じのが二つあるのか、というと『分身』の術です」

黒鬼

もちろん説明不要、『もうれつ先生』のキャラである。

ラジオドラマになったから、国民全員が知っている。

乙女先生がピアトリス（SR）で、彼女に稽古つけている。

古代ローマ人がタイムスリップしてきて、パンクラチオンが現代に通用するのかとか、なんて余計な事は考えない。

生活費を稼ぐために、アブダビコンバットの大会に出場する。

煽りVで「アビタピコンバットの大会の優勝賞金は何に使いますか？」と聞かれて、「風俗に行く」と西村賢太みたいな事を言う。

コピー&ペーストして、ラクに笑いをとろうとしている。

アンカーマンが書いた記事と同じだね。

つくしあきひにとって、『メイドインアビス』の作者がいる。全身スキャンさせてくれなかな。帽子を脱いで、白いひげを黒く染める。なんだったら、コンピュータ上で黒く染めればいいのに、本人に染めてきてもらう。

「ムービースターたちとわたりあえる、メビウスだよ。ジャン・ジローだよ、あきひとさん」

これが私の「ブルーベリー」です。

@憧れのムービースターたち

トム・クルーズを全身スキャンしたキャラクター

瓢箪から駒という言葉があるように、ひょんなことからトムである。

「合理的だ」

『約束の地』のセリフだけど、「今思うと、陳腐」と、ナッジ！

ファイトスタイルはコンバットマーシャルアーツである。ローラさんが覚えたコンバットマーシャルアーツを教えた教官は似た見た目に。種付けもしている。

『ワルキューレ』で片目になって眼帯しているけど、もちろん弾死にやられた。カッシーン（仮のキャラ名）は両目をやられた。

「弾死はナチスみたいなヤツなんですか？」

と、聞かれたら、「ウン。ソウダヨ」と声が裏返った高い声で答える。

もちろん弾死に、イヤな事をされて、『ワルキューレ』で大佐の奥さんがお腹を押さえ

るカットがあるけど、「その赤ちゃんは誰の子？」と、訊いちゃいけない。

質問要求罪！（検索するとここに出る）

なんか、どこかで書いた、奥さんを弾死に負けたために犯されたキャラクターがいる。海を越えた因縁ドラマ。

だけど、『格闘超人』の二の舞になりそう。（普通、こうなったらデスブログみたいになるが、パリ五輪閉会式に無事に出れたのでオーケー）

勝新太郎を松田優作みたいに再現したキャラクター

カツシンの利益。

盲人。

居合抜きボンバーのようなラリアットを繰り出す。ちゃんと、ウルフ（負け役）のラリアットは立ちガードできないから。立ちガードできない間合いがある。

「オレとしゃぶしゃぶ？ シャブじゃなくてか？」

と、本人が言ったらしい。

ところで、カツシンはタランティーノも認めるムービースターである。

タクボン（川谷拓三）の息子を恫喝して、薬物中毒にさせたのだろうか？ 吉野家に行って、「生娘じゃねえけど、出してくれるか」ときついジョークをするところを見たい。

セコンドについているのがテシで、それはもちろん華流界の勅使河原さんの事で、あのテシ、テッシーは全身スキャンをアベルに頼めば、できるんじゃないか。オファーを断ったら、カルト認定な。

解散！

ドーピングして、「ああ、初恋の味だ」と。

もうパンツをはかない。

DDT事件簿。

談志なら、「ああ、吉野家行って、シャブ買ってこい」と、寄席で言ってそう。

シャブを買うために、ファイトマネー（ファイトマニー）が必要ではない。

そういえば、捨て子を拾って顔にしょんべんかけられたり（顔面シャワーの暗喩）、映画『電人ザボーガー』の竹中直人みたいに自分のおっぱいを吸わせたり、いろいろと振られたネタがあるから、寝技で相手に自分のおっぱいを吸わせると、次の対戦に進める裏技、男色ディーノの「キスしたら勝ち」にみたいに、勝ち上がる。

そういえば、コツカケコマンドすると、コンドームを付けて戦うという、「仕込み杖」。相手を窒息させる技（クインテッドではルール上可能）でエレクトさせて、素早く自分のコンドームを引き抜き、相手の「おっき」に付けるという、桜庭の恥ずか絞めにヒントを得て作られた、別に勝ち負けがあるとか、ないとか関係の無い、仕様。

「どうしてこんな事をしたんだ」と問われた、カツシンは「あっしは目が見えねえですから」と答えになってんだが、なっていないのかわからない、不可解な笑みを浮かべる。（精液だまりの所に気分が良くなる粉末を入れており、調達先は江夏商店の店主に「いつものある？」と聞くと奥から持ってきてくれる「アナキン」本編だと絶対できないギャグ）

N T R jr. を全身スキャンした人

『R R R』も観ずに名前だけで決めた。

ファイトスタイルはクシュティで、パキスタン地方の言葉でレスラーを意味するペールワンである。

何か飲んだとか、食べたわけじゃないけど、「初恋の味だ」と、カレーを食べて、「日本のカレー、辛いね」「韓国のキムチ、辛いし」と美味しんぼネタをインドのゲームユーザーに直撃する。

もちろん師匠はラジニークアントで、張り飛ばされたら、レンガの壁を突き抜ける『ムトゥ 踊るマハラジャ』でやったギャグを再現。

『ロボット』では、全身スキャンしたのだろうか？ その時のデータを使わせてもらえば、大丈夫だと思う。（あるいは本人に黙って……江戸木純さんに頼めばデータを横流ししてくれるんじゃないか？）

みんなが、わかっている事を書けば、「お父さんが間男に寝取られて産まれた子供だから、N T R jr. って名前なんですか？」と、真鍋アナ（大仁田にインタビューした人）のポジションの人が訊いてほしい。

たぶん、猪木がやった裏技みたいな事をされる。

真鍋アナは現在、両目に眼帯しているからね。（冗談だよ）

ナメダルマ親方を全身スキャンした人

世界各国のムービースターと肩を並べるのは、この人しかいない。

こんなの許すの、SE ○ A しかない。

史上最大の床上手（獣）で「トジヨウジユ」を読む。シン・ゴジラか、ナメダルマンである。第五形態みたいに本人の似顔絵がうじゃうじゃ増殖している。

職業寝技師。

キャラクター選択画面でアルファベットの NAMEDARUMAN とキャラクターフェイスの前に出る、寺田克也が“ダンボールみたいな口がグイーンって上がるヤツ”と同じショック。笑いながら女をイカす。竹中直人のネタ。

煽りVってあるじゃない？ 試合は始める前に流す。

「ピエール・ナメダルマンは死なない」と、ペンナーメがナメダルマ親方である島本慶先生、亡くなられているかもしれない。さすがにナメダルマンはサンジェルマンみたいに商標登録されていて、タイトル変更の憂き目には合わない。

「親方の新連載も、これで安心だ」

その煽りVで「アブタビコンバットの大会の優勝賞金は何に使いますか？」と聞かれて、「風俗に行く」と西村賢太みたいな事を言う。

楯河流と因縁があるのに、語らない。

立ち技も強く、この漢字表記ではなく、勃ち技で「くけー」と、エレ○トしてるせいで、せっかくの三角締めが締められない、とか。

K S シザーズ。

この3Dモーションを付ける担当者に高坂剛さんに本家TKシザーズをされて、そこからのヒールホールドで靱帯を切ってもらって、世界のコウサカからの技を受けた

体験が出る。

リアリズム。

セコンドには、似たような職業の成田アキラ。

横に電話を引き、テレクラしながら声をかける。（ムラサキマンの商標登録をとって
おかないといけないから、その電話してんじゃないか？）

「ベイダーと戦わせて下さい！」

セガ・サンシロウ

おぎやはぎさんみたいにテキトー感いっぱいについた「幻の九つ目の高専柔道」（エ
ターナるした）にだいたい書いてある。

「こんなんでも全力出してると思われたら、カッコ悪いよな」

「そうそう、恥ずかしいよ」

たぶんどけど、日本で暮らすために、結城さん（仮名）に世話になって、中国籍の
人が宇津木さんに世話になったから、帰化国籍取得で宇津木・姓になるみに、結城に
なったんじゃないか？ 「かばねも捨てた」とおじさんになじられる。おじさん dis り
である。

小池百合子ちゃんの山本一男（仮名）。

@追加戦士の項

違法に田中裕二を全身スキャンしたキャラクター

違法でないと、面白くない。

違法こそロマンと、冗談でも書いちゃいけない。

「あげるくん」のCMで警察犬が「バレるから」のように、違法アップロードされて
いると思う。有名人を騙った詐欺広告の元データは、こういうふうには、ダークウェブ上
にあるんじゃないか？

サーカスに売られた小人症の人、人身売買もフィクションだからOK。空飛び佐助の
三代目あたり。

サーカスで太田光似の団長に何の理由もなくムチを打たれるアクロバティックな曲芸
をしているところを野口修みたいな人に見いだされて、サーカスからさらに引き取られ
て、何の理由もなくムチに打たれる。

家庭を顧みずに愛人（作詞家山口洋子）のところに身を寄せている野口修が格闘技を
教える。弟が経営・指導するボクシングジムで、野口弟にも何の理由もなくムチを振る
われる。

で、山口洋子がエサ（残飯）をよそった皿を無造作に床に置いて、おいしそうに犬喰
いをする違法に田中裕二を全身スキャンしたキャラクター。

犬王リスpektである。

こういうきついシゴキに耐えて、バカヤロー・シリーズで同性同士でキス（ビジネス

キスがファーストキス）している田中裕二を想像してもらい、キックボクシングとルチャ・リブレをミックスした格闘技スタイルができる。

エドガー・アラン・ポーのネタバレ小説（全国民全世界にバレてるモルグ街の殺人）みたいにオランウータンがいきって——山口洋子さんを全身不随にさせるが、しかし野口修は違法に田中裕二を全身スキャンしたキャラクターをせめたりしない。

猛獣の檻の中に閉じ込めると、松島トモ子みたいになるだろうという、未必の故意である。二人の間に何があるのか、夫婦（内縁）の間には、外からはうかがい知れない何かがある。

そもそも日本語をしゃべれず、夜叉猿的猿之助としか、コミュニケーションができない。（こんなギミックを付けると後で自分の首を閉めることにならんか？）

マツコ（通称 mikumiku マツコ）と戦う時は、『ワンダと巨像』みたいなゲームにしたい。捕まると、『AKIRA』で肉塊と化した鉄夫に潰される彼女みたいに、「真っ赤なトマトになっ」てしまう。

悪のプロモーター野口修的な人も、弾死にももちろん因縁がある。それはまだ考えていないが。

長次郎

本来は出てこない予定だったが、あるキャラ（名前を掲載できなくなったユウキさん）を弑首するので、因縁に渥美清じゃなくて、因縁話に厚みを加えるために、家元の遺伝子を受け継ぐという寅次郎ではなく長次郎である。

もちろん名前は映画『劔岳 点の記』のシェルパ的な人、長次郎から来ている。

出生の秘密を知ってグレル。しかし、マツコ・デラックスを全身スキャンしたキャラクターと路上で戦い、格闘家としての本当の自分（『犬、走る ドッグレース』の覚せい剤をやっている警察官）に覚醒する（覚せい剤やってるだけに）が、睾丸を破壊するも殺されてしまう。

確実に、マツコ（さんを全身スキャンしたキャラクター）にムシケラのように殺されているはずが、「死んでいるのに生きていた」ことになっている。そこは皆さんから「さん付け」されているアンダーテイカーさんと同じ。

登場シーンも墓から出て来る煽りVが流れた後、現われて花道の道中に乱入してきた猿之助にビンタされる。

昔のゲームストーリーは、続編なんて作る気が無かったから、平気でキャラがムシケラのように殺されていたり、蘇っていたりした。

むしけらの象形拳で戦う。

ジブリパークで働く名も無き職員

昔は、球団職員をやって「浪人」して指名される事もあった。

そんな大豊（ジェネリック王貞治）なのか、ノムさんに冷遇されて、打てるのに二軍生活のような格闘家人生。

因縁では、なんの映画かは言えないけど、あるキャラクターが「悪いことされなかった？」と、聞く。もちろん、MAOでは「悪い事されてしまった世界線」である。

「㊀!!」

ジブリパークで働く名も無き職員も消されてしまう。日本は法治社会ではないので、『ケンガンアシュラ』で言えば、テーマパークを守りたい人である。

知っていることは話が早い。

鈴木敏夫的な人がボディトリックで、死体は罪のない人を用意する。(弾死の身体を付け替えた人が「仮押さえ」されているじゃない? そのいらなくなった自分の身体を……ヤクザと関わる雑誌の編集だった、そのコネでうまく「ボディ」を調達できた「我ながら」)

そして、ジブリパークで、ハウルのエレベーターを人力で動かしている。それで鍛えられた身体。

「酷い事されなかった」じゃない? と、思った方もいると思われる。「それ、ある映画を特定されてしまう」だろう。

ドー〇が若い頃に「悪いことされなかった? 《中略》「ママぁ～」

わかった。わかったよ。〇ピュタの前日譚を作ればいいんでしょ? ドー〇が算盤手に入れる話や木原誠二に大切な男友達を殺される話や、なんか。

「ドー〇の大冒険」(仮)を宮崎駿の息子に監督させて、「〇ーマーヤナ」からネタ取っているなら、今度は「マハーバー〇タ」からネタを引っばる。算盤は関羽が発明したとか伝説があるじゃん? 関帝廟に祀られた算盤を盗んだドー〇を追ってきた人は、あの東洋人っぽい人の父親とか、そういうくだらないネタ出しすれば、いいんでしょ?

で、広告塔は落合家で「ひろみつ」は営業トークとかしない人だから、あの髭面で「孫と一緒に観られる映画」と「熱風」で書いてもらう。連載タイトルは「戦士の広告」である。福嗣くんも声で出演で、落合ファミリービジネスによって、ジブリアニメが宮崎家から落合家に乗っ取られるのである。

オレならこう撮る。

鈴木敏夫でも文句は言わせねえ。

ムラサキマン

電撃参戦。

昔の、ペプシマンみたいなもの。

ムラサキのペプシマン。

いわゆる2Pキャラは世界観が命の次に大事だから、特別な仕様(男色ディーノ or 伊集院・等)以外には、カラーリングが違うだけの2Pキャラはあまりいない。

そこで同じモデリングだけどテクスチャーがムラサキを全身に貼っている、2Pキャラのムラサキマンでたいした意味は無い。

場合によっては、「実は生きていた弾死」とか、混ざっているかも。デュラルのオマージュをしようとして、失敗していると思わせる。

ムラサキの毒霧を吐く。

悪に目覚めた山中さんが、悪の組織とも結託して造られたスぺアボディが中に入って

いるのか？

正誤表

バツ 竹中直人の持ちネタ「笑いながら女をイカす人」

マル 竹中直人の持ちネタは「笑いながら怒る人」です

編集からのお願い 「別に笑わせようとして書かれたクソ記事じゃないです。格闘家の業の肯定を描いているのです・これは飛竜革命なんです」「ベイダーと戦わせて下さい」「いつまで、こんなこと《略》」

九つ目の高専柔道

「来たか」

場所は台北。

時は、世界中の猛者と渡り合った後。

セガ・アキラの姿が道場の前にあった。

叔父が跡を継いでいる、道場である。

道衣を来て、迎えたのは、セガ・サンシロウ。

説明するのも時間の無駄（都合が悪い事が書かれているから業者さんを使う）のせがた三四郎、もちろん「藤岡弘、」を全身スキャンさせてもらうセガサターンの広告から生まれたキャラクター。エコーソフトウエアのゲームソフト。

つまり、ここからは真剣遊戯ということだ。

終戦後、日系台湾人界では高専柔道を守り継いでいた者たちがいた。

消滅したはずの台北帝大の高専柔道が帰化した彼ら一族が、ほそぼそながら続けて、命脈を保っていた。という設定だ。

SEGAの公式とかは、とりあえず、どうでもいい。

『ゴールデンアックス』のラストボスの名前が微妙な表記違いが多々ある。同じである。

「お前は、地元と同化するために、九帝柔道を捨て、安易に太極拳を選んだ。それがどういう事か、わかっているのか」

「女の子一人、守れない。わかっただろう。太極拳や中国武術協会の拳法は実戦格闘には向かない。ただの健康習慣に過ぎん」

「真実への鉄拳」以後、「明鏡止水」の通りじゃない、正論を
「自分のルーツを否定し、自分の背丈に合わない事をした」

「オレに鉄山靠をしてみろ。ぶちまけてみろ」

「プライドを、ぶっこわしてやる」

セガ・サンシロウに鉄山靠を叩き込むと、逆に 20 メートルぐらいふっとばされる。

「その壁を直すまでは、ウチにいていい」
突き放しているんだが、なんなんだか

スーツに着替え、「舞いあがれ！」のお父さんみたいに、取引先や銀行に頭を下げているセガ・サンシロウ。(あれはドラマだからデスブログにはカウントしない。それよりいしかわじゅん先生のデススイートぶりのの方が問題だろ。「東映に手塚がいる」→手塚氏死亡。「ミミが旅だった」→埼玉で猫の惨殺死体遺棄発生後に人身への傷害事件発生。夜回り猫放送延期でメガトン級ムサシみたいに爆死するんじゃないか？ ノートバーも怪我をしたし)

「あんた本省人じゃないから」と、今だと言っちゃいけないような事を言われる。

「あんな道場やめちまえ」

と。

「ごもっともなご意見ですが、まだ門下生もおり、必ずやりたいと来るヤツを待っているんです」

下を向いているが、意志は強い。

『『クッキングアイドル☆ アイ！ マイ！ まいん』の時間だから、もう帰れ』と言われて、すごすごと帰る。(今、台湾で放送しているのか？ 参考資料「週刊文春 2023 年 3 月 30 年号」)

道場に戻ると、『BECK』の斎藤さんみたいに豹変して、折り目正しい道衣に着替え、武人の風格を取り戻す。

夕方ごろ、道場の開館時間となると、門下生たちがやってくる。だいたいオートバイで来る。ライダーたちである。その中には、オダギリジョー、半田建人、要潤、佐藤健ら、平成仮面ライダー世代の俳優が全身スキャンで 3D モデルになっている。ちょっと遅れて池松壮亮と柄本祐がやってくる。何か、あったのでしょうか？

彼らに混じって、なぜか、サトヨルもいる。ひとりだけキャラが違うので、

「中裕司の全身スキャン、とれないかな？」

と、皆、思う。

獄中に全身スキャン機を持ち込む。看守に払う賄賂は KADOKAWA が払う。(社会風刺)

そんな門下生たちの名が書かれた札には、

「岡田准一」

の文字もある。(てれびのスキマの記事を読んだな！ 讀賣新聞だから情報流出)

「お前には、柔術家の、兄の血が流れている。どんなに台湾人に同化しても、だ。その血がお前をここに戻らせた」

田中良(虚構推理で逆さにするとおヌードになる作画で一番の仕事を更新)のキャラデザのアニメでは、そんな事、一言も触れないけど？

胸を指さす。

「そして、ここには、魂がある。」

「それでも、戦争で負けた」

もうひとつ、壁に穴が空く。

「カズレーザーにいられていいのか？」
 「しくじり先生に出るべきじゃなかった」
 セガの悪口、藤岡弘、が言ったことにして伝聞を伝えて、もらいたい。
 「e スポーツなんて流行りものに作り変えていいのか」
 「異世おじにメガドライブミニ2のCMを打ってやるとかできないのか」
 「絶望したって負けないモンは、エターナるしたんだ。まだわからんか！」
 「放送にテープが間に合わないのは、『シェンムー』のアニメにカネを使ったからじゃないか？」
 「痴れ者め」とここぞとばかりに、セガのいたらなさを語る。
 私も緑山先生と同じ意見です。

一人、公演のベンチで座っているセガ・アキラの基に、門下生の一人がやってくる。
 「師匠は、あなたのおじさんは、ずっと待ってたんですよ」
 「カムカムエヴリバディ」で、文ちゃんの隣に座るオダギリジョーみたいな、オダギリジョー。
 「定期的に道衣を洗う、恒例行事があるんですが、使わないあなた用の道衣を、いつも師匠は洗ってます。干しながら『あいつは必ず帰ってくる』と笑っていました。
 師匠はうれしいんですよ。
 あなたが帰って来てくれて」

「明日は日曜です。ぼくたちと、一日中、稽古してみませんか？」
 セガ・アキラの顔を抜く。

ここで映像作品なら、リクルートのCMみたいに、オダギリジョーの店に藤岡弘、本家仮面ライダーが来るのではなく、「演舞」がかかる。
 「演舞 VVEver.」と権利が無い場合のふいんきだけ似ている「演舞 M.A.O」の二つを用意。

道衣の下はもちろん、裾をまくっている、高専スタイルである。
 その姿で門下生たちと走る。
 ひたすら走る。
 台湾の名勝を横切る。
 そして輝くモノを吐く、出崎アニメのようにスローモーション、3回パン、一度堪えてブハーっと輝く！
 だけど、寺田克也が「ダンボール箱みたいな顔がぐいーんと笑う」のが、ある。そこには悪いサクのノーネームド・レッグサブミッションを食らって、アキレス腱が赤い実はじけた頃の敗北者の姿、
 πちゃん（冷蔵庫の中の女性）がザ・ロックに犯されているのに、チキンウィング・フェイスロックされて、オチる事もできない屈辱に耐えて、

ウルフことリアルワンにお尻の穴に裏技を食らい、やもりんにラッパを吹かされ、シルムのプロ女子選手に投げられて「オラ」と顔面の割れた傷にサッカーボールキックをされ、汁おじさんじゃない！シルムおじさんに「オレは共産主義者と日本人が大嫌いなんだよっ」とエルボードロップしてくる。（文鮮明）

マッシュ・ポリーみたいな人に会い「中国拳法をベーシックスタイルにしている選手はMMAでは勝てない」と、失望の日々を過ごしていた表情では、もうない。

ふっきれたのだ。

非科学的な重量挙げ。金門島の中国軍の砲弾を持ち上げたり、運んだり。『未来少年コナン』のようにリミテッドアニメーションの技法、重い物をなかなか持ち上がらないが、最後には持ち上がる。

十ぺん、二十ぺん、三十ぺん、四十ぺんと繰り返す。

寝技の乱取りで肩を押さえて、のたうち回る。

肩にテーピングして、スパーリングを続ける。『七帝柔道記』の寝技の記述を読んで、ちゃんと身体の構図がわかるくらい、想像できるようになるまで、読者にイメージトレーニングを課す。宮崎駿と獺さんが対談した時、絶対に相手はチキンウィング・フェイスロックの事を知らないのに、チキンウィング・フェイスロックの単語を使う獺さんのシロウトでも容赦のしないところがステキ。

再びマッシュ・ポリーみたいな人が語る回想。「勝てるとしたら、現代MMAのオリジン、過去に栄えた高専柔道にある」と、前三角締め（高専柔道で開発された技）でアキラを落としてながら呟く。

オダギリジョーが佐藤健にのしかかられているシーンは最上美女丸みたいな表情を浮かべるし、逆に佐藤健がオダギリスクリューをされると、映画るろ剣で伊織に金玉噛まれた時の表情になる。

そんなシーンは無いけど。

要潤が道衣を噛みながらする絞め技をかける。

前三角絞めを松葉がらみと、古い呼び名で呼ぶ。

池松栞本が映画でやっているのを再現しない。1号と2号が空中でドラゴンボールしてるギャグ？

そんなシーンは無いけど。

失伝したと言われる技を柔術考証の人に復元してもらって、彼らはそれをかけている。マーシャル・アーツ・オリジンがリリースされたら、本物のMMA戦士たちが使い出すに違いない。

セガ・サンシロウと襟の取り合い、袖の取り合い。奥襟りをとったら、立ち技で投げられるが、

「もういっぼん！」と叫ぶ。

彼らをチャン・ツイイーを全身スキャンした冷蔵庫の中の女性が遠くから眺めている
「お時間です」

と、運転手に言われる。

後部座席で靴を脱いで、横になってくつろぐというより、だらしなくしている。

「私はプロデューサーにだって抱かれてる。犯されたぐらいで、傷つくようなタマじゃない」

憂鬱そうに、トウが立ってきた女優のような事を言う。

「悔しいのですね」

運転手が差し出がましい事を言う。

「男の子の中に、混じれず、ただ見ているだけしかない」

タバコを吸いながら狂人のように嗤う（「高畑の著作を読んだな」と読者が思う）チャン・ツイイー。

πちゃんだけど、ムービースターだから。

それにしても『オペレッタ狸御殿』でオダギリジョーと共演していた人物とは思えないんだなあ。

やがて、ジャッキー的な人物から、アブダビコンバットの大会に連中が出ると一報が来る。この頃には、いつの間にかサトヨルは消えている。2023年の四番は大山くんで、美桜ロスチャイルドの発言が実現しようとしている。“マンガはよげんの書”である。予言の自己実現があってよかったね。

台北高専柔道の会として、出場を願うが、

「もう、お前には、仲間がいる」

コブラ団の団員である入れ墨が抜かれる。

「劇光仮面みたいだね」

と、ここで日本のコミックが好きそうな綾野剛にそっくりさんが、箱根駅伝を見ていて、遅れてきて言う。（本当はガーシーに脅迫されていたのでは？）

第一回戦、対戦相手はスポーツ一佐。

開始早々、身体の中の山梨が暴走して、『ケンガンアシュラ』の呉一族みたいな、ブーストモードだっけ？ ドラゴンクエスト11をプレイしたらブーストモード？ アニマルエクササイズじゃないんだから。

・・・ヤマナシクアニマル！ こちらはルドロジックアニマル（ゲーム学のケモノ。）だから、これで良し。

アキラはくるぶしキックされ、顔を歪めて、そこへフックを食らって「真実への鉄拳」のように、ノックアウトするが、倒れた後に真霜拳號の無道をかけられてしまう。

両腕が千切れて、最後にドラゴンデスロールで首がハネ飛ぶのは、武士の情けで表現しない。ハネ飛んだ首をしゃかりきになって追いかけて、スポーツ一佐がサッカーボールキックするとか、そんなフェイタリティ（究極真拳）なシーンは、緑の血を出さないといけない。売り上げに響く。

二度と、バーチャの続編が出ないように、トドメを刺された。

「ポーカーでもしてろっ」

そして、ジャン・ジャック・マシャードの左手をスキャンしてモデリング時にカメラ合成する手の指を観客にいたオタギリジョーに差す。

「十分どん兵衛は、オレがオリジナルだ」（「土俗のグルメ」第二回を読んだな）

と、宣言。プロレスでマットの上での決着が着いた後、新たなカードが組まれるみた

いな事になっている。

試合会場から楽屋に至る道すがら、カメラ目線で「真剣勝負ってせつないね」と、スポーツー佐もうれしそうな笑みを含んだしょっぱい顔をする。マグマ塩をなめたんでしょうか。

で、おなじみのギャグ「これでお気持ちを鎮めて下さい」と TENGA ではなく、懷からオナニーホール SENG を出す。

SEGA カラーで、挿入すると「セ〜ガ〜」と音が出る。（いせおじの CM に出していたらクラッシュが無かっただろうね）

セガにお情け。

追記

後はハニーを嫁にしたサンマンとか、『ラストブロンクス』のキャラとか、ちゃんと IP を再利用すれば、面白いというか、旧作ファンにはとっかかりになる。

SEGA 社にやる気が無いから。

IP 死蔵会社、というか、セガ・サンシロウの意見は、皆、そう思っている。（シェンムーの事を触れないのは、お情け）

だけど、

「もうエターナるしたで、いいよね」

これ、どうでもいい話だけど、「もうゴールしても、いいよね」のパロディと、わざわざ説明しなくても、いい。「半死半生のトレーニングでも、科学的で無かったらダメなんだよ」と。

そもそも「もうゴールしても、いいよね」ってギャグ、いつまでできるのだろう？ 世の中には「永遠は無い」（一般常識な）ので、使用期限切れの事を考えてしまい、なんとなくわかるように、セガ・サンシロウが「ヤツはまだ、くるぶしキックに対応できない」とスポーツー佐に耳打ちし、「ひるんだら打撃で行け！ 自分が不甲斐なく情け無いやつだと、プライドを壊してくれ」と、弟子が負ける時に師匠が一枚囁んでいたを表現したい。

そのための、セガ・サンシロウ。（白覆面の魔王の中身かもしれない）

書評 ザ・ブック 『プロレス社会学のススめ』

主にブック問題に関連する件だけで、書評を進める。早く終わる。

勝ちブック、負けブック、いわゆる業界用語ではない。ネット界限で自然発生的に生まれた言葉らしい。いわゆるネットスラングである。

ブックは基本スケジュールブックのこと。

これまた用語でブッカーと言われる人が、開催に合わせてブックキングするため、レスラーの予定を聞いておく。もちろん手帳にメモを書いておく。それをブックと言う。

平日はOKで、休日はもう他があるとか、いろいろ書き込む。またはダブルブックキング、という言葉があるように、予定を片方忘れてレスラー側が二つ入れる事もある。(マスクマンだと同時に出来る?)

ここで問題は対戦相手が決まると、ある程度勝敗が決定してしまう。ダブルブックキング入れちゃった「貸し」みたいなモノがあると、「負け」を引き受けないといけない。削除すればいいわけじゃない。

地元が近い方が勝利という、プロモーターというより地方興行に一枚噛んでいる地元興行主の意向も関わる。

と、説明するとブックキングした段階で勝敗が透けて見えてしまう。

とはいえ、勝つか負けるかはマスクされている。マットの上での決着を観れるようにしている。たとえ録画中継の放送前に事前情報を得て勝敗がわかっている、ビデオで試合内容を観ると「面白い」と言えるムーブを作っておかないといけない。そういう事ができてない者は、レスラーとして「売れていない」。

これを飯伏問題とからめると、ひとつの説にすぎないが、あえて出そう。公開された情報が狭いと、勝手な憶測が生まれる。それが負けブック、勝ちブックに繋がっている気もしないではないが、飯伏ほどのレスラーなら、いまさらブックには問題無い、と思われる。だとしたらムーブの問題ではないか?

「ブックはそちらが決めてくれ。ムーブはこちらが決める」

と、というのが、問題では? ムーブは何かを決められるのは、レスラーの領分を犯しているのではないか?

ムーブとブックをからめると、『プロレス社会学のススめ』で語られたスモールパッケージホールドで負けるか、リック・フレアー方式でリングアウトしてタイムカウントがオーバーして両者引き分け、か。そうして負けるとしても、いいスジ・ストーリーを書けるかにかかっている。

たとえば九州サーキットで飯伏の地元・鹿児島開催で飯伏がなんと「みじめな負け方」をする。その試合後に、「福岡ドームで再戦しよう」と飯伏が主張する。九州サーキットのトリ、大一番。

こうして福岡ドームに急遽カードが組まれて、飯伏応援団を呼ぶ。鹿児島ファンたちをドームに動員する。ドーム興行のスジ・ストーリーを書ける——博多大吉先生が「新日の社員になりたかった」というのは、こういうストーリーを書きたいからだ。（私も書きたい）

ドームで普段は観れないようなムーブ、フェニックススプラッシュ二連発とか、雪崩式ひとでなしドライバー（死ぬ）とか、カミゴエ式Vトリガー（カミゴエ）を木〇に決めて、「ドームには行かない予定だったけど、ドームに行って本当によかった」とファンに感動させるような、スジ・ストーリーを書けるか、だ。

これが合っていないくても、『プロレス社会学のススメ』でも疑念があると指摘された『ダークサイド・ザ・リング』みたいな事があったのか

そこは確かめられない。

まだわからない。

具体的には、まったくと言っていいほどわからないのだ。。

あまり報道はされていないが、飯伏母が飯伏がフロントにいじめられてるみたいになって、息子に相談をされたのがショックで自殺未遂し、助かったが介助を受ける生活になったという。

そうなると、新日本プロレスに、不信感が芽生える。

「後はマットで決着を着ける」ことができないという問題もある。

そこは勝ちブックも、負けブックもない。しいていえばガチブックがあるだけだ。

追記 （注・転載の今回は短く刈り込んでいる）

《前略》それをやるのは、アリスソフトさんのリリースした、『奥さまの回復術』をプレイして下さい。これ、戦争屋ちゃんのセリフ？ と、作者ならわかっちゃうから。気づかれるから。

もしかして、気づいていない人もいると思うので、木〇って、木谷社長のことだと、思う。

転載時の ことば

「どうして、2UF に収録しなかったのだろう？」

「書評の章があるのに」

「『夜が来る！』 リマスター版をプレイして下さい！」（プロレスのネタ、あるしね）

広告

夜が来る！

リマスター版

FANZAでダウンロード版
その他のネット通販でパッケージ版あり

レンズのおかげで撮れた光学的に偶然出来た「観測できない月」

square of the MOON pr1.jpg



2UF はもう出来ている

Amazon Kindle で発売中

格闘家の家元の血を受け継ぐ
首里手の使い手



Book 広告 012.jpg

野球は ネタ

私が野球に興味が無かった頃

「ゴトチヒの野球読本」を書いているのに、ものごころつく前から野球好きだったわけではなく、野球好きになったわけで、興味がない時期が当然ある。

以前以後に分れる。

たまたま読んだ宇野常寛さんの『ひとりあそびの教科書』では、作者はそんなにプロ野球に興味があったわけではないが、ある雑誌に野球のカードゲームのおまけがあったらしく、そこから入って、いろいろ情報を得て、やがて「違いがわかる」ようになり、新聞のスポーツ面を見ながら、地上波放送されていたプロ野球の試合中継を観るようになったと、書かれている。

こうして入口はどれでもいい。

マンガとかテレビドラマとか、チャンネルは多いに越したことは無い。（野球賭博は違法）

私の場合、野茂メジャー挑戦アメリカ渡航以前、以後に分れる。

そしてパワプロのサクセスモードが搭載された時期に重なり、あれは宇野さんの例に近く、先にテレビゲームが好きで、ゲームをやっていると野球ゲームもやって、徐々に選手も権利関係をクリアされて実名が載せられるようになった頃と同じくする。

だけどプロ野球の情報を積極的に取りに行く、まではいかず、人も超有名選手か宴会部長的宮本和知とか、そういうのしか知らない。

急に「セコムしてますか？」とテレビCMで長嶋茂雄がやっていたギャグを真似して、笑いをとる

その程度の知識だったのである。

このように、何か情報が入ってくる時、巨人中心に聞こえてくる話題が多い。

ノムさんこと野村克也がヤクルトの監督に就任し、ID野球でセ・リーグをかき回して、人徳が無さそうなおじさん（当時）の顔ぐらいいは覚えているが、ギャオス内藤までは、覚えていなかったと思う。

だから赤鬼ホームーの頃は関根潤三さんがヤクルト監督で、ノムさんの頃ではない。

「マツコ有吉の怒り新党」の名物コーナーで近鉄が取り上げられた、三大近鉄が情けない負け方をしているのにも取り上げられた日本シリーズ三連敗後に巨人が逆転する、例の発言があったとされるのだが、シーズン中の方がつらかった等の発言で、そういうコメントをしていただけて、「ロッテより弱い」とは言っていないのである。後の検証でわかっている。読賣新聞の盤外戦、情報戦として思い出深い。サッチーも脱税は読賣の謀略みたいな陰謀論的な事を唱えていたが、どうしてサッチーの学歴詐称には興味津々で、非常に疑わしい小池百合子のカイロ大卒を無視しているのか、スポンサー様（三井不動産サマ）の意向なのだろう。

まだ日本シリーズはデーゲーム開催であり、日中ゴロ寝していた父が中継を観ていて、もう決着が着きそうで優勝杯を用意しているのを、ちょっと覚えている。

このあたり、思い出補正が無い。

巨人ファンなら、「ああ覚えている」「懐かしい」となるが、あんまり。

メイクドラマ（死語・廃語）の逆転劇の着火点・札幌シリーズが無くなったし、スター吉村のスターたる所以である川崎健次郎から打ったサヨナラ弾で優勝を決めて、スポーツ紙じゃなく一般の新聞の一面になっている吉村に友人に「この人が打ったから（優勝した）」と、スターを称えていた事を言われてもピンとこなかったのだが、ずっとこの人物は原辰徳？　と思っていたら、最近スター吉村とわかったのである。

私自身の野球体験は幼児期にないのか、と問われると実はある。

子供会でパークに近所の子供たち（焼きうんこ先輩はサッカー部所属）を連れていく、日曜イベントがあったのをおぼろげながら覚えている。

バウアーが付ける、小学生の女の子のランドセルみたいな色（蛍光性があって夕時夜間見え易い）のグラブではない青いグラブを買ってもらおう。たぶん、兄弟兼用であったり、したのだろう。

あんまり、それで野球に興味を示さない子だった。

物置部屋と化した場所ではこりをかぶって、青グラブは死蔵され捨て置かれていた。父も買い与えるだけで、毎年早朝野球をしているが、キャッチボールをせず終わる。

そして甥っ子にその青グラブは受け継がれ、残念な事に今はサッカーをしている。

それが現実。

私自身もグラブをもらった前後して、右肩を二度脱臼する、ジャンルは違うが飯伏幸太みたいになる。やせ型体質なのでウェイトオーバー気味にはならなかったが、投げられる肩ではなくなっている。パワプロのサクセスモードをやった事が無い人には、何を書いているのかさっぱりわからないと思うが、脱臼で肩力が4か3に、さらに脱臼で2か1になる怪我をしたのである。ドッジボールだとかの投擲種目は、あらかたダメ。（姉に選手生命を絶たれたとか書きちゃうとマズイよね～）

今でも肩が冷えて痛い、冬が来たと季節痛に見舞われる。

メジャーだとストロングアームで、160キロの送球をするショートがいる。こっちはショートの位置から、ファーストまでノーバウンドで届かないかもしれない。

雲泥の差。

ともかく垂直的な受け継ぎはこうして終わったのである。

つまり小一時間かかるサクセスモードを遊ばせてくれた友人や衛星放送を観れる友人を通じて入ってくる野茂情報、そういう水平的なつながりで野球情報を受動的に知って、最終的には松本人志よりリスペクトしている松村邦洋こと松ちゃんの阪神好きにあてられて、タイガースを選び、ダメ虎暗黒時代を生きる事になる。（当時現役だった引退選手すら暗黒時代と振り返って言う）

暗い青春のはじまりを予感させる、やがてスナフキン野郎となる。

映画の『マネーボール』でビリー・ビーンがラジオを付けたり消したり、試合中は筋トレ

レしているとか、気を紛らわしていたシーンがあるが、同じ。自分も同じくあの頃の暗黒時代を思い出して、身につまされる。ラジオをつけたり消したりして試合は気になっているが、だいたい負けていた。たまに巨人戦のテレビ中継も伝統の一戦といっているが、負け越し年が十数年連続していた。

これまた、わからないたとえだが、テレビアニメの『カオスヘッド』を観た人物が、自分を人工衛星でずっと監視されていたような映像をみせられたような、気分になるという。

10.8 がうろ覚えなのは、ホームーを野村ヤクルト時代と思い込んでいたのは、こうして以前の頃の「無明時代」の話は、「なんだかなあ」ということで、気落ちしてしょんぼりする話であった。

小さい文字指定

最近。父も入院して、介護申請（２）もされたから、父との野球確執は死後に準備。

パワプロもあんまりやらなくなってしまい、コナミは……あんまり、バッドエンド的なことになっているなあと、「ちょっと良くないんじゃないの？」と、「影の章」があるせいで売り上げが悪い、と思われる。

後味悪いから、何か継ぎ足して、口当たりよくしないと。

父の孫で私からは甥っ子に、野球好きで——これ以上は個人情報流出で、もしかしたら、欺瞞情報工作で「野球好きの少年など、この時代、いないんだよ」という事も、可能性として、否定はしない。

バウアーの子供時代みたいにウェイトドボールを用意してあげないとね。あれ、理にかなっている。狩猟採集時代は同じ重さの投擲物を用意できないから、違う重さの投擲物を投げるしかないの、それで球速が上がるのは、自然選択されたと考えるのは妥当。

こういう事を聞いた張本勲に「そんなことありませんよ関口さん」と言われるのが良いトレーニング。（でえもやんが張本に同意）

二軍の試合で一茂が出る打席を見かけたのか、見えなかったのかは「野球読本」で書いたので、そちらを。

注・「セコムしてますか？」は長嶋茂雄の鉄板ギャグではない。セコム社のキャッチコピーみたいなフレーズであり、ハリウッドザコシショウの誇張ものまねをしないとスベるだけ。

書評 しょうゆのシミ 「月刊ベースボールマガジン九月号」

「ボケ老人には、ほとほと弱りますな」

と、愚痴から入るのは、読者に失礼である。「左から失礼」という忌み言葉もあるので、ブラックステインケース、黒い染み事件で永久追放な経緯があって、それを話しているとムカムカしてきますが、いつもの情報を得るために、「月刊ベースボールマガジン」を図書館から借りてきて、写真で別人物を掲載してたか、データをしくじってないか、奥付から読むという、週刊朝日の「ブラックアングル」読者みたいな事をしていたのである。

そして夏場に具合悪くした老父が入院して帰ってきたら、醤油をこぼして汚したんだよ。アテネの太ももにかけちゃったヘパイスミスみたいな……それで図書館にかけあって、正直に事情を話し、雑誌を密林（コード名）ルートから手に入れて、飛車角交換的に汚損品と新品を取り替えして万事が済んだ。

江川と小林のトレードである。

この場合、江夏と江本のトレードか。

いろいろ手続きが面倒であったがこうして経費に落とすために、こんなクソどうでもいい、誰も読んでない書評を罰ゲームみたいに書いているわけですよ。

下半身はへびの書評、なんとかケンタウロスの書評にすべく、「フントウ〜努力のか……」と、そっちの寅ではなく鷹の頃のノムさんの話をしないと。

いわゆる野村本というのは、いろいろある。実は巨人ファンで川上好き、外国人選手の悪口ばかり言っている本もあり、終には『野村克也 明智光秀を語る』とか、戦国武将を語る本まである。

これ、松ちゃんの『松村邦洋 「(大河ドラマ名が入る)」を語る』シリーズと何が違うのか、読み比べてほしいけど、南海時代の野村克也を特集という、生前は市場があった野村本的一种と考えていい。

マニアック向けじゃない！

産経新聞を配っていた極貧の少年時代、高校に通えそうになかった克也少年、なんとか秀才で成績が良かったから進学できて、南海電鉄を親会社にする関西の球団ホークスに

こうしてプロに進めるがすぐに廃業を南海側に打診されるが、粘ってプロを続ける事ができて、キャッチャーのポジションを得て、持前のタフネスで

そして戦後最初の三冠王が産まれるサクセスストーリー「愛の貧乏脱出大作戦」みたいな——に水差すように運命の中華料理屋で後に添い遂げるといふ左千代と出会う。それでノムさん、ミュージシャンみたいに糟糠の妻を捨ててサッチーと不倫して再婚、アントニーが正妻がいるのにエジプトで邦子パトラと仲良くなる。まあ、そんな「対比列

伝」な話は戦国武将と比べたるな、と同じか東京での現地妻状態であった。後楽園球場をホームとする球団と対戦する時には、サッチーの自宅から球場に向うという

左千代パトラと蜜月時代到来で、利根山の新居の隣に江夏を招いて、江夏の娘とフロに入っていた、という。（注・別の雑誌での情報）

すると調子に乗ったサッチーは夫人会を作ったり、グラウンドに前夫との間の子供をうろちょろさせていたらしい。

しかし、子供好きのプロ野球選手（出典・エモやんの『プロ野球を百倍楽しむ方法』）だから、子供そのものは嫌いじゃない。単純に、左千代さんが嫌われていただけだと思う。

亡くなった故人の死体にトゲのあるムチで打って、巻きつけてスイッチを押して電撃を喰らわせるような事をしたいわけじゃないけど、「マダムのけんか」事件を思い出しても、サッチーが嫌われていて、問題が起きている。（この件であるラジオ番組で月間MVPを受賞）

選手たちの反感も多く、ノムさんは「南無三」、南海側に左千代と別れることを要請されてしまう。しかしSMA P（忌み言葉）の歌みたいなの「世界に左千代は一人だけ」と、ノムさんは宣い、これからは野球一本でやるのを拒む。

それでホークスから放出されてしまう。

戦後最大のメリユージュヌもの、開けてはいけないドアを開けるとそこには下半身が蛇の蠱惑的な女性がいた、日本ではそれはサッチーである。（戦前はマタハリ）

馬場元子、左千代、明恵と、夫の足をリック・フレアーみたいに引っ張る三大悪妻である。リングアウトでタイムリミットが過ぎると、場外引き分けとなり、王者防衛ができるから、挑戦者の足をひっぱってリングインを阻む。

今のメジャーリーガー、二世・三世は子供の頃からグラウンドでちょっとベースボールに戯れる思い出がある。エキサイティングスポーツの野球に触れて、清宮みたいにラグビーをしないで野球をするのは、そうした思い出があるからだ。

だからブーン一家のような、おじいちゃんがメジャーリーガー、お父さんもメジャーリーガー、兄弟二人してメジャーリーガーがいる。渡会くんだって、五十嵐亮太の話では一緒に神宮球場のヤクルト風呂に入っていたというし、金村義明みたいに息子は体罰にたまりかねて野球部を辞める事もあり、余計な事を書いた。（勿論ヤクルトの湯は話に尾ひれをつけているギャグである／ノムさんだけにヤクルトジョーク）

データ面も充実していて、1963年と1964年にはペナントレースで150試合していた頃はおそらく休日祝日にダブルヘッダーをして、試合数を消化しているのがモノクロの頁にあるデータ表を読むと、わかるっ。この頃、かねやん（金田正一）が一日に二勝するとか、とんでもない事、水島新司のマンガ（とくにプロ野球編）でとんでもない記録が生まれる、思い出の時代だと思われる。

今はそれをメジャーリーグで大谷翔平くんがやってくれています。

ドカベンを越えた夢みたいです。

山田太郎のモデルが、ムースであり、門田が入団する時期と前後するが、左打ちなのは門田が左打者だからだろう。

データで特筆すべきは二年間で 300 試合をこなす、1963 年は全試合出場、翌年も全 150 試合中、148 試合も出る、朝刊配達で培われたのか、このタフさがノムさんの長所である。

エモやんの本はいろいろ言われているけど、ノムさんがスパイクで額を切られて、何針も縫うケガのはずだけど、翌日絆創膏貼っただけで、治したというほどの驚異的な傷の回復力。（パワプロを知らない人に「ケガ回復○」と書いても、まったくわからず「はっ？」となる）

盛った話かもしれないけど、常人以上の回復力、少なくとも人並以上のスタミナがなければ、150 試合前後を年間でできない。

『虎の血』って、この前だから、もっと混沌としている。

西側は何か内紛が起こる。

図らずも、ちょっと字が違うが将西で醤油のひしお、西の武将のステインである。端境期に、新人選手の台頭とスター選手の衰えとのせめぎ合い、そんな血の入れ替え期間に監督が生贄にされる。

監督の仕事は勝負に勝つ事だけでなく、そこがある。

『嫌われた監督』にも描かれるヴェテランスター選手に引退を自覚させて、引き際を用意するという、「それはオレの仕事だ」と落合も

ケガをしても試合出場しないと、ポジションを奪われ、スタメンから脱落し、代打起用も良くないと、一軍から落ちる。

月間ベスマガを読むと、度々その話題が出て、若松監督も池山をどうするか、

それができないと、他球団に放出、ちょっとつらい事になる。「ブラックアングル」にもそのネタ、書かれるような事である。

ノムさんも引退を考える時期に、そういう憂き目に合っている。

サッチーの件は本当に（現場介入が）嫌われたのもあったかもしれないが、「そろそろ現役引退を華々しくさせてやりたい」球団側の温情も感じる。

取引じゃないけど引退後の監督専念やその他諸々を手厚くする準備はしていたと思う。左千代でもう面倒事起こすなよ、

いろいろな取り計らいを、している、と。

それを蹴った

醤油のしみが付いたみたいに、みそがつく。けして、伏線を張ったワケじゃないけど、ノムさんは「南海にとっての明智光秀」になったのである。いつもムスッとしているムースになっていたのである。

それを蹴ってしまったから、南海電鉄本社にある……南海ホークスの記念館？に野村克也の功績展示が長年なかった。（ちょっと雑誌を読み返したらなんばパークスの……私のように雑誌を手に入れて正確な情報を手に入れてくれないかな？ 出版業

界や球界のために)

しかし、エモやんこと柄本明の計らいで『福田村事件』の馬が好きなお義父さんが息子が出兵中に嫁に種を仕込んでいたのである。

違った。

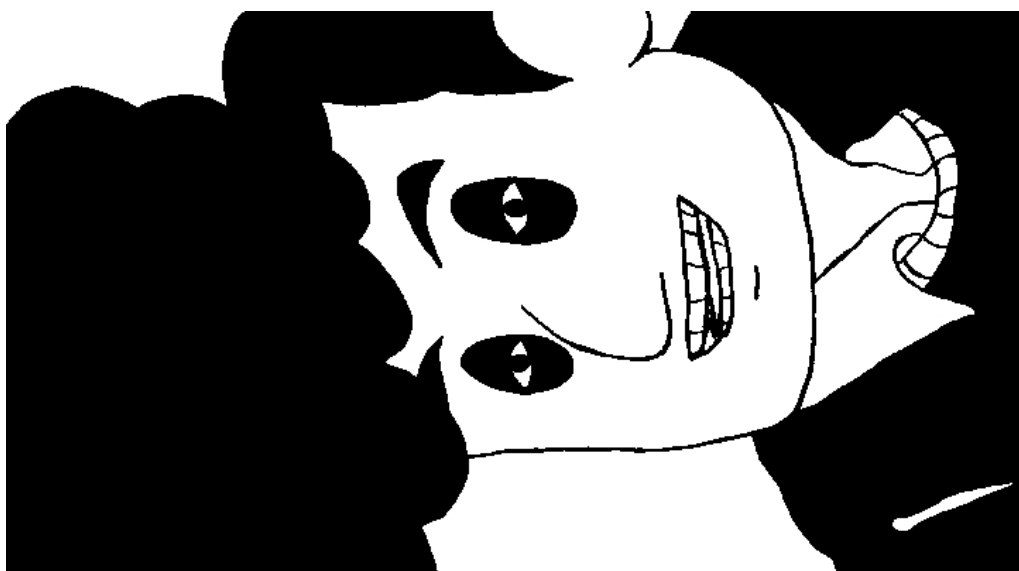
江本孟紀の方のエモやんの計らいで、ノムさんの功績展示がされる事になった。死後とはいえ、南海ホークスのノムさんが帰ってきたのである。

ドカベンラストシリーズであるドリームトーナメント編でも、スーパースターズのユニフォームは、南海ホークス時代の緑の鷹にしている。南海ファンである水島新司もどこかで、ホークスにノムさんが帰ってきてほしかったのである。

今回の特集は「緑」があって、「緑」の鷹の時代のノムさんをクローズアップしてくれた。

しょうゆのシミはブラックではなく、グリーンとなったのである。

明るくない広報



銀の宣伝 06.jpg



スポーツニッポン
で二月十七日と
十八日に選手名鑑掲載！

「俺の子を産めよ！」



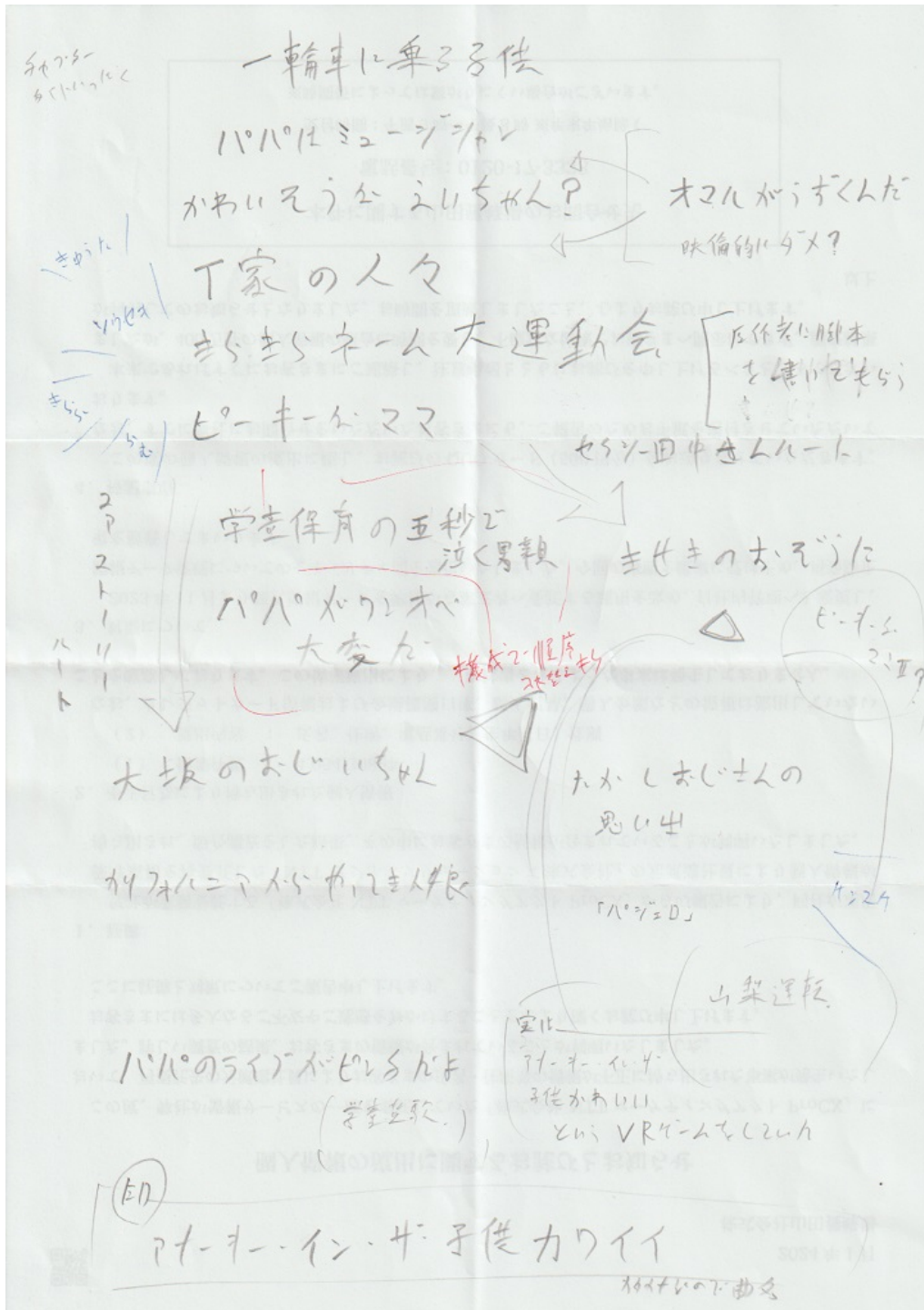
これは どんの広告 です

裁判になったら全て日清さんに責任をなすつけます

どんの広告 33.jpg

新規2・オレならこう撮る

アナーキー・イン・ザ・子供かわいい を 実写映画にした
いⅡ



ANAKINGazou2.jpg

イメージキャスト

T家のご主人・役 呂布カルマ

ダメだったら 風間ケンスケ（友情出演）

T家のわんぱくでやんちゃなトラブル or ハプニングばかり起こして映画を面白くするお
子さん・役 人気子役 か 田中裕二

ダメだったら 風間球打（ノーギャラ出演）

歌怪人 森口博子

歌謡界のスーパースター・役 合田道人

特別出演 マキタ係長の部下（あくまで通称・ミッキーバンドの人、そっくりだから）

「パン」「ツ」「○」「見え」をするだけの人・役 高橋一生

オマルを疼かせたミュージシャン・役 オーイシマサヨシ

主人公（父）を叱る人物・役 安藤優子（回想内では母親？）

T家のご主人は、たまたま芋煮会に隣に座ってきて、「あれえ？ ウシジマ君に出ていた？」と聞いてくる。

「よく言われるんですよ。別人ですよ」

と、いつも返す言葉をお父さんが言う。このくだりがあると、お父さん役は山田孝之くんでも、いいんじゃないか？ と思う。しかし山内さんでないとできないアクションがある。

それは置いておいて呂布カルマ演じるT家のご主人が自分の子供にピンポン玉を投げる、亀田三兄弟の父（史郎）が編み出したギャグを真似すると、観客がほおばったポップコーンを吹き出すので、映画では外せない。

もちろん、エピソード6の「史郎、子育て、夢中になりすぎ」という当時話題だった亀田三兄弟と父、それに触れている。

なんでピンポン玉を投げているのか、運動会の予行練習らしい。そこは『ベスト・キッド』と同じで、掃除したり、何かしたりしたのが意味がない。ナンセンスギャグ。小学生あたりが運動大会でボクシングやるのは、『まじかる☆タルるーとくん』ぐらいだよ。

ついでに上野樹里さんにやらせたい役、やってもらいたいピーキーなキャラクターがいて、それは詳しくは原作本『アナーキー・イン・ザ・子供かわいい』の情報流出になるので、公開は控えるが自分の娘に、ラムと名付けようとした人物（原作を読むと誰かわかる）である。

だから子供の役名はラムにして羅夢という漢字をあてる。「羅」って、名前で使えたっ

け？ 「裸夢」だと夢が丸裸？ 裸も名前で使えたっけ？ ともかく夢グループに秋波を送る意味でも、夢を入れないといけない。写真を撮るために、命名権を売るネーミングライツである。

ピーキーとは風変わりとか、そういう意味。「ユニークでとても素敵ね」という意味で日常英会話で使われる。

「いじってない」

「雷が落ちる」

ダメだったら、アッコちゃんを演じた千本木さんを。ピーキーと言えば『リトルウィッチアカデミア』のアッコである。まあ、能年玲奈があのキャラクターであると。「あまちゃん」みたいに、後に共演した人（さかなくん）を後に演じる。

のんちゃんを出すと、他のキャストに支障を来さないか、心配。

んで、きらきらネーム大運動会でも出てくるという、そこで顔出しする川島省吾こと劇団ひとり、『坊ちゃん』の時代』で漱石を演じさせるから、「ソウセキっ！」と自分の息子の名を呼ばせる、「映画秘宝」のインタビュー記事でひと笑いがほしい配役。

但馬金ノ介みたいな名前なんだよ、お父さん。（金之助だけどね漱石の本名）

これは原作読んで一番驚いた「まんがタイムきららがいる！」という、心を動揺させた広義的感動をフィルムに焼き付ける。

芳文社がスポンサーになってくれないかな。山梨を舞台にした「ゆるきゃん△」の作者が、この映画版のコミカライズを描いてくれないかな。（願望をダダもらししている）

「きららファンタジア！」と叫ぶ父親!!

『きららファンタジア』にラムちゃん（クラスは小学生）出てくる、コラボレーションも考えられる。

「もうサ終しているよっ!!」

「うる△やつらの許諾が必要でないのか？」

ちなみに「うるせいやつら」と読む。「ゆるきゃん△」も「ゆるきゃんせい」と読む。（これは# 素人は騙せる ですな）

原作のエピソード 36 で、子供の名前を呼ぶ親たちが、悪魔ちゃん騒動並にきらきらネームを叫ぶという、笑いどころが用意されている。杉田水脈!! ときらきらネーム議員が国会にもいるから。他にも未来来（「みらくる」と読む）とかいないのか、木津千里の名前候補。

繰り返すけど、この運動大会には、もちろんボクシングは無い。ピンポン玉投げられて、それが後で役に立つ競技は無い。本当に無意味なナンセンスギャグなのである。

「まあ、ボクシングトーナメント、作ってもいいんですけどね」

長谷川くんと藤原くんがやって来《中略》それと、マキタさんの奥さまとは会わない。会ってしまったら、アナキンの映画化はできなくなってしまう。

それは『女帝』アニメ化計画……じゃねえや。映画化計画のスタッフが本物の小池百合子ちゃんに会うようなものじゃない？ エジプトの大学、カイロ大だっけ？ そこを卒業したことにされる。

「いわゆるセクシー田中さん方式ですね」

と、いじっているワケじゃないからね。

尊敬できる奥さまである。ほめ殺ししないと、雷が落ちる。

そこは西原理恵子が娘のエピソード、盛り過ぎてご本人さまにずっと「やめろ」と言われていた。サイバラの事だから、さもありなん。まったく言う事を聞かなかった娘に「北朝鮮」とネタを出して、ボツになっている。そんな風にマンガに描かれてたら、子供はイヤだよなフツー。

そこで曖昧表現の政治的発言である。

「間違いがあったら、いけない」

性的に魅力があることを否定していないし、これでナシがつくといいな。

「梨なだけに無しなんじゃないですか？ 山梨なだけに」

と、脳内の言葉のストッパーが外れているおじさんみたいな事を言ってしまう。

安藤優子さんと会うと、間違いが起ってしまうかもしれない。まあ、小倉唯には「お前にだけはロリコンだ」と、言っているけど私の性的嗜好は、中年女性でもいいのは、バレている。お客様向けに美少女ポルノを「客商売だから」とやっている。お客様向けに美少女ポルノを「BUSINESS だから」とやっている。

大事な事だから二回書いたけど、ご本人様に知らせるなよ。『軍鶏』の第二部で地下格闘技をしてマダムが.....もうやめよう。

「あそこで最強だったのが岩釣さんだった」（伝承）

さて、オマルを疼かせるのは原作では銀杏ボーイズだけど、映画では愛媛が生んだスーパースター、オーイシマサヨシくんをユアストーリーする。

『好きな子がメガネを忘れた』は松竹ブランドだから、これ、いけるんじゃないか？

ピザ配っているオーイシくんのところに全身黒ずくめで、長髪ヒゲ面、暗い所なのにサングラスをしている、通称佐村河内コスプレしている私が、

「映画に出演しなさい」

「ゴトチヒだから、多めに見るよ」

と、ハンドルネームを言えば、抵抗できないんじゃないか？

プロデューサーには悪の臭いがすると、押井守が言っているけど、何か臭いがすると、オーイシくんに嗅ぎつけられる。洗剤のCMみたいに臭いに色が付いている。

それは、ただのおならだった。

ついでに森口博子も歌怪人役で、出演というか、コメディリリーフ。島津亜矢の歌怪獣に対して、こちらは怪人である。

「私、仮面ライダーに倒されちゃうの？ ぴろ子哀しい」

と、本人が言いそうだけど、

「東映配給だったら、そうです」

「最後、ダミー人形が石切り場で爆破されます」

「最終回手前で、再生怪人として出てきます」

「二十年後ぐらいには当時観ていた坊やがリビドーを感じる対象になります」

としか、答えようがない。

夢に出てこないで下さい!! こんな東映でくすぶっている助監督のようなクソ映画化一人企画会議、エゴサして読まれると、困るけど。こんなクソ記事まで、読んでるのかよ。

「森口のためにやっているわけじゃない。ただ、面白おかしい記事を書きたいだけだ！」

ともかくオーイシくんは保険だよね。想定オールスターズの都合付かなかった場合、代わりに「アナーキー・イン・ザ・子供カワイイ」を歌ってもらおう。

「アニソンばかりじゃなくて、たまには実写の映画の主題歌、やりたくない？」

と、悪魔の囁きすれば武道館でライブをする絶対に体制順応派でインボイス制度とかに文句を言わないオーイシくんも、従ってくれる。

東宝配給だと、原作をユアストーリーと言えない。

皆さんは、私が何をやりたいか、山内圭哉さん（私のハムレット）に何をやらせたいか、わかっていると思う。何を「オレならこう撮る」か、わかっている人しか、こんなクソ記事読んでない。

そういえば山内さんを主人公に起用で、もう皆さんは「なるほど」と思う。なんだったら、観る前からやる事がわかる。

回想シーンで家の中に釘があって、何故か釘をなめて人を撮る……釘をなめると言っても、本当に釘を舌で舐めてから、人をカメラで抜いて、ピントを合わせるワケ（ピント送り）じゃない。

庵野監督も読んでいたアニメージュ文庫のナウシカの絵コンテ*の巻末「絵コンテの描き方」で、「ルパンをなめて」とある配置・構図のことを「なめて撮る」という用語である。

釘からピント送りするとか、あきらかなに何かある、観客に「なんなんだろう？ この釘」と関心を持たせるまで、しつこく抜く。いわゆるフックをつける、観客が気になるまで釘をカメラで抜く。

ここまで釘を画角内に入れる、なんらかの理由があり、「東京ポット許可局」のネタにあるように、知っている人には話が早い、桜井政博さん（デデデ大王の中の人）の動画。

お父さんが帰って来て、「ただいまー」と玄関で靴を脱ぐ、そのドウサだけで、身体の一部のはずのモノが大きく揺さぶられる。実は小型モーターで動くようにリモートコントロールされている機電。（機電とは『劇光仮面』を読んで拾ってきた特撮用語）

「あれ？ 石田社長？」

みたいな、ファーストインプレッションがあって、一人二役で、大人になった主人公と同じ山内さんが回想シーン内の父親を演じる、「遺伝子は同じ」という「同一性」があって、玄関を上がってきたお父さんは釘に「帽子」をかけて、上座に座っておしぼりで頭を拭いて、おじさんチャージする。

「ふ～」と一息ついてから、おもむろに、

「パジェロ」

と、呟く。

きょと〜んとしている二人の槇田兄弟を抜く。静止画をあえて、使用するかもしれない。（子役はじっとしているという芝居が苦手だから）

阿佐ヶ谷スパイダーズには、そういうギャグがあるから。頭に付ける持ち道具？ それとも衣装？ スタッフは床山さんにあたる物品を次々と交換するギャグ、「演劇ブック」に書いてある。

そこが山内圭哉を起用する配役理由。わかっている人はわかっている。これが「知っている」と話が早い」である。

グッズとして、売るとするのは.....無いかな。

プリペイドカードにカセットテープのイラストがあるとか、楽譜を付けたパンフレット、マスキングテープのグッズまではなんとか考えている。

カノンドーピングのコードが印刷されていたり、女の子がシネコンの売店で買っても安心な「ふわふわの誕生日」のプリキュアのコンパクトみたいなもの。ぶりキュアのコンパクトを探すという原作にある、これが公式をそのまま使えるなら、東映配給になる。(使えないなら違法リリキュア)

他のアイデアがあんまり無いけど、鉄棒と帽子の絵柄、床山さんが作った被る持ち道具ではない。映画ではこのシーン、T家のわんぱくでやんちゃなトラブル or ハプニングばかり起こして映画を面白くするお子さんが腹を抱えて笑う。

作るなら、原作者に秘密裏に作らないといけない。

他のテープの柄はドラマチックマイナーのコード順を書いた、著作権的にも大丈夫なヤツがいろいろと考えているが、及第点をいってない。

宿題にさせて下さい。

上納システムです。

アイデア上納システム。

マグカップに釘が刺さっていると、作中で使われた塩とか、もっといいグッドアイデアがあるはず。カセットテープそのものを売るなら、プラスチックのカセットテープケースを売ったらいいんじゃないか。その中に、カセットサイズの十徳ナイフ、カセットサイズの学習リモコンでエアコンもコンボもテレビもボタンひとつで動くヤツ(たぶんWI-FI使わないとダメだと思う)をセットで売る。それでCMは山内さんがお父さんを演じてもらう時にわざわざ作った頭に付ける小道具(釘にひっかけるヤツ)をマキタスポーツさんが持ち道具として装備し、カセットテープガールが保科有里のポジションで「安い、安い」「すごーい」と言って商品を紹介する、どこかで見た事があるけど、まったくの偶然。コロンバサークルが新しいファミコンのソフト出しても、このケースに収められる。だけど、まだ駄目だ!そこは勝新太郎の神が降りた後も、まだいいアイデアがあるはず。降りた神を凌駕するアイデアを探り、やる気だけはあつた若者みたいに、長谷川博巳の声で、

「ユアストーリーさせて下さい!」

と、萬平さんみたいに、「僕にユアストーリーをさせて下さい」と、うるさい。

「どうして、僕にユアストーリーさせてくれないんですか? こんな原作、ユアストーリーしなかったら、映画になりませんよ」(失礼しちゃう論)

「ガキ使」の七変化をやりたいので、また全身黒ずくめ、佐村河内コスプレで座って来た私の元に、松本人志の『遺書』を映画化させて下さいと長谷川博巳がやってくる。

このオーバーアクトな絶叫芝居、まるで柳下毅一郎さんが「オレのために撮ってんのか!?!」と思うような、やる気だけはあつた熱血漢のタイプキャスト、手に『遺書』を持って、

「どうして『遺書』の映画化をさせてくれないんですか」

「ぼくに任せて下さい」

「ぼくにユアストーリーさせて下さい」

と、食い下がる長谷川博巳さんに、

「山口雄大くんでセクシー田中さんにするから。脚本も（ピー音が入るがセクシー田中さんの脚本家）に頼んでいるから」

と答えると、情緒不安定の人みたいに急に泣き出す長谷川博巳をエッジアートロニックで抜く。

「どうして僕の歌が、採用されないんですか」と五秒で泣き出す男親も、エッジアートロニックで抜く。後からはがいじめしているのが、主人公宅のお隣さんで、無表情。

そんなことはどうでもよく、原作である『遺書』を床に叩きつけて、

「こんなケジラミばかりの話、ぼくがユアストーリーしなかったら面白くないんだっ」

と、長谷川シャウト。

会議室から出ていく長谷川さんは投げ捨てられた『遺書』に向って「お前のせいで皆わらってくれなかったんだからな」と捨てセリフを吐く。

こうして七変化のくだらない案を考えていると、ハリウッドザコシショウの芸は七変化、という事に気づく。

あの、『窓際のトットちゃん』の校長先生の有名なセリフを誇張モノマネするためだけに出てくるのが、ハリウッドザコシショウなのだ。

登場シーンもほぼ回想シーンのみ。娘の幼稚園時代の園長先生で、

「キミィは、本当いいいに、イイ子うあああんですよおおおおつ」

と、発言。荒木先生のマンガのセリフみたいな、ジョジョは誇張モノマネなのか、ザコシ師匠が影響受けているだろ、そんな本物の俳優がやるとおかしい芝居をする。

本当にやったら、変質者だよ、この芝居。

「一橋は本当に、アリスソフトさんが好きなんですネ」と言ってもらいたいセリフが役所広司さんにはある。役所広司さんが言わないと。

役所さんで年齢がぐっと上がるので、年齢層のターゲットもちょっと広げてみようという小賢しい興行屋のもくろみ、皮算用、グランパムービーの属性も付け加えて、シルバー料金の人たちにも、感情移入できるエピソードを後半入れる。

正史・史実のご家庭と違う設定、ユアストーリーで大阪のおじいちゃん、地方局のラジオDJをしているという、設定。本当は舅さんは板前さんで、九州から出てきたのがお姑さん。（奥さんの旧姓が田中さんで、このお姑さんがセクシーではない）

例の入院でライブ興行で外泊するから、ラムちゃんを一人にするとまずいから義母に来てほしいのに、しかし電話を受けたのが、おじいちゃん。案件大好きスージー鈴木さんがその祖父役で、文庫レーベルを持っている出版社がスポンサーだと、いいなあ。

画面分割で大阪は左の方、関東が右の方の電話シーン。左右対称的に手に持つ受話器も右左、逆。（小学館は右で講談社は左という事はない）

「おおー、なんのようや」

と、お義母さんになまって下さいと何度も言うけど、「オレが要件を承るがな」と代わってくれないのである。

渋々、入院の事情を話さざるをえない。

「うちのラムはまだ、小学ン年生ですから」

「奇遇やなあ。うちにも小学ン年生の孫がおるねん」

「それ、ラムのことじゃないですか」

今、やっちゃいけないダウントアウンのネタである。ライト兄弟の頃？　ここでラムって書くと、誰がピーキーかわからないか？　確かに樹里ちゃんの姑は「ピーラーのレミよ」と「今日の料理」でやっていたけど、原作を読むと違うかもしれない。ユアストーリーしているから。「ピーキーなレミ」ということで、

仕方なしに、話した事情を知ると、

「オレがいったる」

と、乗り気で、

「いや、お義父さんでは、ちょっと」

「心配いらんがな」

「仕事あるじゃないですか」

「録音でどうにかなるー」

と、

「とにかく、お義母さんにな変わって下さい」

「腰が悪くてな今、起き上がれんのや」

「さっき頭痛だって、言ってたじゃないですか」

「腰も頭も手も脚も痛い言うてんねん」

「花岡青洲の妻ですかっ」

「そうそう、眼も見えず耳も聞こえへんのや」

と、こまわり君みたいなの、その場のあそび、やりとりがあつてから、たまたま「チェンジ！」と全画面で叫んでいるのに、次のカットは新幹線が左から右へ走る、そして新幹線のドアから降りて来るおじいちゃん。

ホームで迎えに来ている父娘。

「まいど」

と言われて、むっとしている婿は、

「ラムを頼みますよ、お義父さん。（しゃがんで）おじいちゃんの言う事を聞いて、大人しくしているんだよ」

「うん、困っちゃうくらいね」

「そこはやんなっちゃうくらいやろ」

と、歌詞を知っているかのような、からみをする。

「お～、ラム、ちいさくなったな」

「また言ってる」

と、謎の声かけ事案である。

借家に引っ越してからは、まだ来てなかったのか、近所の人たちに会って「おじいちゃんだよ～」と、紹介していく子役。

丘サーファーしているT家の前にも寄る。表札にもどうどうと「T家」と書かれている。

川島省吾もなぜか素通りして、「今のソウセキくんのお父さんだよ」と言うと、

「へえー、余裕派やなあ」

と、鴎外・漱石の留学組の文学者の派閥を知っている。

シリーズが続けば、この金ノ介のエピソードもあり、どこかの会社のCEOでインテリジェントビルに重役出勤、ステディカムで社内移動を追う。そんな金持ちなのにジョブズみたいに、中間層の暮らしをしていたとわかる。

つまりスーさんとハマちゃんの関係で、

「君が観てきた全ての松竹映画の続編だ」

但し、松竹ヌーベルバーグは除く。大船調。

今日はたこ焼きパーティーをするから、とか立ち話すると「グランパとタコパか」と、やはり呂布カルマがライムを刻む、脚韻を踏んでいるセリフ。（メンドウ臭くなると思うからいちいち必ずライムを刻むセリフではない）

それで、お目当ての江夏商店に料理の材料を買いに行く。一輪車乗ってお父さんを迎えに行く時にもちょっと映った江夏商店。『博士の愛した数式』よりも、江夏値を高くする。

店内では「俺の歌」がかかっていて、店長が江夏豊で、「えなつや～」と祖父役のスージー鈴木さんに言わせる。本人ロツテファンなのに。（清田育宏くんも声をかけてカメラ出演させようか）

「よく言われるんですよ。別人ですよ」

と、どこかで聞いたようなセリフを江夏に言わせる。

タコ焼き作りたいから、冷凍のタコをありますかとか、なんかやりとりしていると、耳元で小声で「例のモノを用意できてる？」と今日初めて会ったのに、そんな事を言うと、店主はニッと笑って一旦奥に引いて、丸秘と書かれた袋を持ってきて、受取ったおじいちゃんが「誰も見てないか」顔を横に振って、それから白い粉を入れた袋に指を入れて、その粉をペロッと舐めて、

「小麦粉や～」

と、二人で喜ぶ。（江夏が覚せい剤で捕まった事を知らないと、このシーケンスがどうして面白いのか、わからないだろ）

キョト～ンとしている子役の顔を抜く。

出し汁も、かちわり氷のビニールみたいなヤツに「江夏汁」（中身は奇跡のお雑煮の鰯出汁）とラッピングされたのを小麦粉に混ぜて、タコ解凍中にまたフロに入って、

「白黒な～思い出に～♪」

色をつけて～おまぁ～♪」

と、ごきげんに歌う。

歌声が聞こえる室内の写真で大瀧詠一さんを抜く。（他にも写真——これ以上書くと原作のネタがバレる）

机の横半分しか写さず、ラムとおじいちゃんできいろいろ会話していると、「ところで」と移動撮影でサイドにドリーが動いて、「なんでキミおんねん？」とT家のわんぱくでやんちゃなトラブル or ハプニングばかり起こして映画を面白くするお子さんがたこ焼き食ってる。

さらに横にスライドする（パンではなく移動撮影する）と、T家の御主人までいる。

「なんで、お父さんも、おんねん」

『家族ゲーム』の批評、近所の人も集まって、疑似家族ゲーム。

それで「あの夜空はカリフォルニアにつながってんねん」と（これ以上書くと原作のネタがバレる）

居間に布団敷いて寝てる祖父と孫。

また俯瞰のカメラが横にスライドすると、T家のわんぱくでやんちゃなトラブル or ハプニングばかり起こして映画を面白くするお子さんも寝ている。

今までずっと、ペーストしていたけど、もうメンドクせえから、タツオでいいんじゃないか？ 名前。

「タツオくん、マグマ塩をなめていきなよ」

と、お母さんがタツオくんにはウェルカムソルトする。

タツオがすぎる、タツオがここにいます、タツオが乗ってます、タツオが長いなどの、今までストックしたギャグが使用可能になる。

それでT家の御主人も寝ていて、謎の女性も寝ている。

「なんで、奥さんもおんねん」

と、おじいちゃんも寝言を言う。

釣りバカの「不合体」である。飯豊まりえでいいんじゃないか？ この奥さん？ 『家族ゲーム』のラストシーンの俯瞰的構図のカメラアングル批評。

入院しているお母さんのところにも、お見舞いに行って、塩をなめてもらう。（なんか悪い宗教の教義みたいな「塩を舐めればなんでも治る」みたいな／星の子じゃなくて塩の子）

近所の子にアメちゃんくれて、本物のAちゃん（注・ロバート秋山ではなく子役）はお母さんが在日朝鮮人で、

「ハーフやんカッコええやん」

と、言ってあげる。

らもさん本人がロフトプラスワンで歌った、人生を肯定する、関西の善性を映画に込める。

そうしないと興行が悪い。

都道府県別で興行成績が出ると思うから、その成績が悪かったところにロケに行く。シリーズ化できたらの話。あんまり興行が悪いと、お話の中でそこに移住する。

ミュージシャンがライブ興行して行って、そこで森口博子を出さないんだけど、歌姫と何か「恋愛？」みたいなちょっと仲良くなる、いい雰囲気だ〜け〜ど、ご家庭があるから、いつもスン止め！ これ以上進展しそうになると、歌怪人がコメディリリーフで現れて「あっ？ 知り合いと思って、声かけたけど違った」と、あのミッキーバンドの人、山内圭哉にも似ているという事？

それ（石切り場でダミー人形爆破）はどうでもよくて、みんな寅さんやりたい。究極的には、寅さんみたいにしたい。男はつらいよシリーズみたいにしたい。

松竹自体も『虹をかける男』で、寅さんシリーズ化を目指して、ダメだった事がある。寅さんは奇跡。ちゅらさんは奇跡みたいな、

森田芳光も『間宮兄弟』でシリーズを続けたかったけど、原作者が映画独自にシリーズ化を拒んだ。全国の路線を旅できる『僕達急行A列車で行こう』を撮ったけど、森田監督は、

「松田優作のそばに行ってしまった」

のである。

それで、ライブ興行に行っていた主人公がダブルブッキング。別件のライブに間に合わない。学童保育の施設が老朽化で資金をプールするためのチャリティーコンサート、『ブルースブラザーズ』的な、「バーンド」ないつものアレ。

こういう施設でバザー終わった後にやる、ライブ演奏会などの余興。

頭の上がらない大家さんが「副音声映画みたいにいちいち言うわよ。借家の家賃を安くしているのはねえ、こういう時にちゃんと参加してもらうためなの。施設だけ利用して、何もしない、無課金勢みたいな事されちゃ、ねえ。私の機嫌が悪くなるわ。家賃を元に戻してもいいのよ？」

と、軽く脅される。電話の先で、ぺこぺこ謝るお父さんという、子供には見せたくない、見せられない姿を抜く。（たぶん大家さんの先代はバブル期に地上げ屋や地面師で儲けたと思われる）

それでCEO（劇団ひとり）がベースで、キーボードが義父（スージー鈴木）でヴォーカル娘という即席バンドが間を繋ぐ。

露払いで呂布カルマがリリックを歌う。バンドメンバー紹介の、
「この子の親

出番があるのに おや？

大幅に遅れている

この会場につかない

チチオヤとして面目ない

遅々として来ない」

と、やる。

「そこで娘の出番だぜ」「急ごしらえのバンドだぜ」「今から場繋ぎ、本人たちはやる気だぜ」「幅を利かしてやるんだぜ！」

で、ベースを指さして「子供の名ソウセキ、バンドはもちろん即席」とか、キーボードを指さして「グランパとタコパ、そのグラパ」、「まだ来ない父から教わったギター&ヴォーカル、ラム」と、場をもりあげる。（注・あくまで便宜的に主人公の娘にラムとされているだけで、本当にラムと名付けようとした実話から取られているわけではない／そんな原作ない!!）

それで学童賛歌を歌う。

ちゃんと歌詞があるから、著作権問題が発生するので、「岸田なんかにまけないぞワッハッハッのハー」と音楽の政治利用。

「デスポストなんかに負けないぞ」の歌詞で、飯豊マリエを抜く。

「YOASOBIの政治利用」は誰も文句言わない。

「YOASOBIに政治を持ち込むな」

原作をだいぶ、アレンジしちゃったけど、ホンを読んだ安藤裕子さんのご機嫌が悪くなったので、ここ、変えさせて下さいと、いう事もありえる。大崎元会長みたいな松竹の偉い人を連れてきて「隠し撮りすんなよ」と言わせて、奥山さんを追い出したような圧迫面接で、作者さまであらせられるマキタスポーツさんも納得していただかない、と。

ようやく間に合った主人公のバンド演奏シーンは割愛され、安藤裕子さんの大家さんから「娘の方がよかったわね」と言われて、「父親として面目ない」と答える。

安藤裕子さんのノーリアクションを抜く。宮崎駿のように無音演出。

「ジブリっ子ですから」

このシーンが最後の撮影でクランクアップしたら、ニューサンナイで打ち上げだよ。

チューハイでカンペー。

原作者さまに「上京物語」のネタを披露してもらって、ギャラはタツオが払う。

うっかり山内圭哉さんに「今晚の呑み代は全てサンキュータツオさんにつけといてくれ」「なんだったら、みかじめ料も払わせたらいいんですよ。渋谷落語で顔が利くから」と、ジョークを言うと、

挨拶がない場合、代わりに行く人という役をふる。

笑いながら、「ムラサキってそういう意味だから」と次の広辞苑改訂では、そういう意味に書き換える。公文書改竄ギャグ。（ムラサキマンが次の広辞苑に載る）

大丈夫、大学の教授がこんなクソ記事読んでいるわけない。東映でくすぶっている未来の無い助監督が語る妄想、それが「オレならこう撮る」でしょ。

全国査読に耐えた論文を読めよ。

本文より参考文献の方が文章量が多いやつ。

ただ We Are The World 方式で奥さまがこないようにしていただきたい。

「平野レミさんは呼んでいいです」

「ピーキーなレミ」

「もしかしたら、続編でへそを曲げた義母（姑）役でレミさんと呼ぶかもしれないから」（お舅さんが勝手に病人熱いしてへそを曲げてやって来る）

これ、冗談で言っているけど、スタッフとか週文の編集みたいに出禁扱い、するんだよね。迷惑するんだよね。「迷惑だなあ」「九年になったら、令和苦だよ。林真理子は知っていたのか？」「何が有識者だよ、明和九年のことを知らないのかね」と、うまい事を言ってしまった。

「これはタツオが言ったことに」

エンディング前のシーンが、ワンオペ時に洗濯しようとして、脱いだシャツから嗅いだ事のある臭いがする。

たかし叔父さんの匂いがする。自分をハグしてくれた時のカットも挿入される。ここで人物の同一性があると、わかる何かが無いといけないけど、アイデア不足で思いついていない。（クロティック B&W の映像から色が付くのは思いついたけど「共感覚的に色に匂いがする」）

自分の中に、たかし叔父さんは生きている。

そこで微笑んでしまう主人公が、ふいに気配を感じると、隣の家窓から歯磨きしながら見ている高橋一生がいる。ピントが合う。

『進撃の巨人』の超巨人が壁を乗り越えそうな時の似た曲がかかる。

無表情の高橋さんを三カメで抜いた後、拍手を打つように「パン」と手を叩いて、指を「ツー」本だし、それから親指と人指し指で「○」を作る。最後は帽子の庇（ツバ）みたいに目の上に手を添えて「見え」をする。

一生さんの眼カメラ視点で、洗濯機にシャツを入れようとして、パンツ一丁の山内圭哉さん。

で、エンディング・テーマに雪崩込む。オーイシくんが歌うかもしれない「カワイイ」がかかる。

場合によっては、パンフレット掲載の家族写真が挿入される。

原作者さまをいじれないけど、本当の槇田家の写真が映されて、ポストエンディングの映像が流れる。

オレなら、こう撮る。

安藤優子さんにも文句は言わせねえ。

＊ 正式名称は「風の谷のナウシカ 絵コンテ1 Ⅷ」宮崎駿・著 ジブリ絵コンテ集にも、だいたい付録的に収録されている。



ねむるバカ 実写映画化で 公開されたら観て下さり
前売り券を買って映画館に行かないという手段もある

演劇や舞台関係の記事

手塚と沙翁 沙翁と手塚

☆習作で 完成まで 書き上げるか わからない

シェイクスピアの事を何か説明をする時、作家性が似ている手塚治虫の作品や経歴を引き合いに出す事が多い。

手塚は 21 世紀になって、徐々に忘れられているが若い層には覚えてもらっていても、生前は国民的なマンガ家であった彼をあげるのが、ある程度は適切である。

しかし、微妙に食い違い、噛み合っていない、合わないところがあるのは認める。

終戦が一致しないのである。

まず、エリザベス朝の時代と昭和の時代で一致するのは、無理が生じる。

創作的に人魚亭で「英国艦隊の勝利と女王陛下に」乾杯していそうなアルマダの海戦の勝利と「紙の砦」で万歳した太平洋の敗北の終戦は勝敗が逆さである。だが、終戦後に大英帝国の繁栄と高度経済成長が待っているのを鑑みると、どうしても似ているように見える。

そしてエリザベス一世の崩御後も沙翁が生きていて、昭和天皇の崩御（一月）に続く手塚の死（二月）で一致しないのである。

イコールが「＝」「≡」「≠」なのかは、当然、ファクターを細かく分けていくと対応しなくなっていき、大まかであれば一致していたのが、ほぐれてきてしまう。それは手塚と勇者ヒンメルも、同じである。擬えようとすればできるが、こじつけているにすぎないと、指摘されよう。

さらに現在はテヅカ・イズ・デッドではなく、テヅカ・イズ・ノット、手塚がまるで存在しないかのような、戦後マンガ史空間になりつつある。米澤さんの『戦後野球マンガ史』にはオビに「手塚治虫のいない風景」と付けられていたが、それが野球マンガだけではなくになったのが、21 世紀の現在である。（野球マンガは「バックネットの青い影」以外にはほとんど見受けられない）

そもそも生前から一橋系のメディアミックスが功を奏して手塚治虫作品が相対的にマンガ市場に占める割合が縮小気味になる。手塚に強烈な劣等感を持つマンガ家が主人公の『チェイサー』で語られているように、マンガが巨大市場になっていくと、主人公本人もヒット作が出来て、手塚は置いていかれつつあるようになる。

そんな手塚であるが、彼を知る母数はまだまだ多いので、沙翁を引き合いに出すのは正しだろう。

しかし、どうやら逆ではないか？ 手塚の説明をする時にこそ沙翁を引かなければならないのではないか？ 漱石作品では「沙翁」と略字にされるシェイクスピア、彼を取り上げるのが適切なようなのだ。

その影響を受けているのは、手塚の方が大きいのではないかと。沙翁を先輩とみても、後発である手塚が手本にしたが、正しそうなのである。

まず、事前に知っておくべき情報が手塚好き以外には、多いと思われる。
「本のセールスマン」ではないが、桜井哲夫『手塚治虫』（講談社現代新書）と夏目房之介『手塚治虫はどこにいる』を事前に読んでおいて、竹内オサム『手塚治虫語辞典』も目を通せば、だいたい手塚史、手塚学を網羅した事になるので、本項を読んでも大丈夫だろう。

それを踏まえた上で書くが、戦後マンガ史は手塚中心主義、それを唱えていた夏目房之介さんも「そうとは言えない」と語っているように、手塚中心の戦後マンガ史観は、すでに否定されている。

それは沙翁の時代に劇作家たちが複数いて、当然「エリザベス朝演劇はシェイクスピアただ一人ではない」とわかっている。『葬送のフリーレン』でも、おいおい、たくさんの勇者たちがいたとわかるだろう。（テレビ放映でも北の勇者の言及がある）

HD-2D のドラクエIIIで

牧歌的なマンガの終戦以前、略して戦前マンガの児童向け漫画（当時は漢字表記である）に影響を受けている。

手塚は自他ともに認めるように、その児童漫画に悲劇を導入する。

竹内オサムらマンガ評論家は、手塚以前から残酷表現はあったとされるが、『メトロポリス』のような主人公がアンハッピーエンドを迎えるてしまう悲劇（Tragedie）はさすがに描けなかっただろう。

終戦以後のマンガ、略して戦後マンガはレギュレーションが緩和されて、小さな市場だった赤本（複数の意味がある語句）でエリザベス朝悲劇流行期の表現が出来た、と。

エリザベス崩御後にチューダー朝の悪口は少し言えたかもしれないが、神への冒瀆になることは反対に規制されたようなもの。

戦後児童マンガをリードするのは事実で彼をフォロワーとしてトキワ荘作家、いわゆるトキワ荘グループがあり、そして地元関西の貸本マンガグループ、主要二分派ができるが、やがて貸本市場から劇画が発生する。

それで一旦、手塚マンガは「古い」とされてしまう。トーキングアニマルの世界からシートンの「動物記」のような相対的なリアルな動物描写となる。同じく人間も同様に描かれて、手塚の表現ではできない「ヌードモデルのヒモ」の人生を描けるようになる。

手塚が劇画を徐々に取り入れるように、沙翁も「テンペスト」で急に仮面劇をはじめ、急に止めるという「？」な展開がある。水木しげるの妖怪マンガを『どろろ』で描いてしまうような、手塚の貪欲さも沙翁を見習っていたと考え、納得がいく。

悪書追放運動でマンガがやり玉にあがるように、前述の通り神の御名を冒瀆してはいけないと、1606年にレギュレーションが厳しくなる。

さらに、メビウスを起源とするバーデーことバンドデシネ（頭字「BD」）の影響を受けた大友克洋が現れる。

相似形式的な作家略歴となるのである。

劇画 と 仮面劇

大友マンガ と 少年劇団

これが合っているようで、合わない。

どのようなジャンルでも、流行に乗ってデビューしたものの、作家活動期にそのジャンルの地殻変動が起こる事が二度はある。

これはあらゆる表現物のジャンルで活動していたら、だいたい起る事で、逆に起きていないと、徐々にそのジャンルが廃れ始めている。前述の夏目房之介さんは、かつて「日本マンガに新しい文脈が現われない」と評していた。ジャンルの安定期なのか、衰退期なのかは市場の観測が必要なのだが、シェイクスピアの二十年間の作家生活と、似ていなくもない、と感じる。

牧歌劇流行期がデビュー前で、悲劇が流行った頃にデビューする。似ているのである。

そんな沙翁のライバルがクリストファー・マーロウである。

宿の勘定が高い事に感情的になり、劇よりも劇情的に死んだ死にざまをロックスターのような死と、たとえられる。これは偶然の一致であるが、手塚のライバルとみなされていたイガグリくんの作者が急死するのに、なんとなく擬えられてしまう。

「戦後マンガのロックスター」ではない。

しかし、数年も経つと宮廷では仮面劇が流行り、ベン・ジョンソンがその代表的な劇作家といわれる。余計な事も書けば、このベン・ジョンソンが沙翁の代筆、つまりゴーストライターをしていると疑われていたが、定量分析上は否定されている。いしかわじゅん先生の『七人のシェイクスピア』評は、南信長が確実に書いているのとは、大違いである。

晩年近くには、少年劇団が台頭する。すでにエリザベス一世の御世で少年劇団を教会が抱えていた、とされる。（大友の前に宮谷一彦がいたようなモノだがそれがわかるマンガ読みは少ない）

いわゆる天覧で披露していたというのが、それが流行りはじめ、らしい。この少年劇団、逆宝塚歌劇団とみなせなくもない。オールメールで演じられたのが当時のレギュレーションで、それは現代歌舞伎と同じなのかと言うと、現代では観る事が出来ない若衆歌舞伎であっただろうか。

手塚の方はオールウィメール？ 宝塚歌劇を鑑賞していたのは、確か。

阪急百貨店などの地元関西圏の物件をマンガに描いているのは、なんとか確認できるが、SKDやOSKを手塚が観ていたのかは、定かではない。

こうして並べた悲劇流行期、仮面劇、そして少年劇団、一応は戦後マンガの三層に対

応している。

むしろ、シェイクスピアを手本、先輩としてみなしていたから、（この場合アジャストの）対応できたのではないかと。

打ち寄せる波、波状の流行変化にさらわれなかった。

彼の功績は『葬送のフリーレン』みたいに、ヒンメルのような銅像を建てないと、忘れられるのは世の定めだろう。

アトム像はあるが森さんの死後も、その役立たずぶりを語られる為に銅像が立てられる皮肉になるだろう。

反面教師、反面総理としての役目があり、早稲田大学を裏口入学（本人自身がカムアウト）、産経新聞を入社試験も受けずに入社できた偉業がくり返し語られるための銅像建立であるのは、間違いがない。

アトムとサンケイグループは所縁があるのが、おいおいアトムの足をひっぱらないか、再評価が相対的に低く見積もられないか、心配である。（これも沙翁は体制順応主義と批判されている）

手塚の有名な点で単行本収録と連載で内容が違う、

これがクォートとフォリオ、さらにコンプレーションの沙翁の定本問題と、かなり一致している。この点はマンガでも描いた。

講談社手塚全集の『新宝島』と、近年復刻された『新寶島』（旧字体が赤本オリジナルの原本通りを差す）を読み比べれば、その違いは明白である。個人的に因縁が出来てしまった中野晴行の解説とともに、目を通してもらうのが百聞（百伝聞）は一見にしかず、だろう。

さて、手塚の他に忘れてはならないのは、漱石である。漱石と沙翁も、その著作に沙翁の影響が見受けられ、その件は「私のクレイグ先生」（あるいは「クレイグ先生と余」）に譲るとして、

ブリテンルネサンスの如く、封建社会を近代化しようとした明治期、さらにエリザベス女王の崩御の如く、明治天皇のお隠れがある。日露戦争の辛勝とアルマダを退けて戦勝に沸くイギリス。

「手塚と沙翁 沙翁と手塚」のように、「漱石と沙翁 沙翁と漱石」もまた、必要なものである。

茶番の意味を知って

茶番劇という言葉がある。

元々は、お花見で場所を確保してくる茶番、現在でもあるか宴会の幹事役を引き受けていた人が、大家さんの前でお座敷芸を披露するらしい、宴席担当者だから、飲めない人もいるし

お茶を用意をしていたのだろう、お茶番がこういう余興を用意する。あるいは酒を買えなかったから、代わりにお茶、アルコール分が無いから、素人芝居を演じる。そのレパートリーの中に、この間見た歌舞伎の真似事をする、みたいな事を江戸時代にしていたらしい。

転じて、素人芝居の事を差すのを茶番と、言うようになった——後は正確な裏付け、もっと正確な確度を得るためには、本当に時代考証をする人に、尋ねないとダメだ。

ちゃんと謝礼を出す、会費料が払われるところで、質問する。

そうして答えてくれたら、ちゃんと感謝する。

丸投げしているか、情報の正確性を確かめるために調べる、再学習、復習をしておかないと身につかない。

新入社員の八割が知らないネタは、茶番がウマすぎた人がタモリさん。山下洋輔さんに見いだされ、深夜番組にネタを披露していた、いわゆる夜のタモさん

そこで、おいらが間違った知識を持っていたら、それは仕方ない、バカにされてもいい。

そこを説明してもらわないと。

何かの本を読んだ拍子に、茶番についての事が書かれているはずだ。説明していないって、何を具体的に説明してほしいのか？直接、直（じか）だとワークショップとなって、当たり前のことだけど、それなりの日当を頂きますよ。はじめに書いた通り、検索にかけても、わからないものでないと、説明しがいがない、

鴻上尚治さんのワークショップで出るラバン・システムのラバンを私は、実は知らない。

「じゃあ、調べましょう」

という事になり、調べた者と調べなかった者に差が出る。

ノートに知らない語句を書いて、記す。それで演劇用語を調べてもらう勉強、受け手にも学習のテイをしてもらわないと、著作権の利用の範囲を逸脱してしまう。

正直、Twitter、Xでなんでも画像引用しているけど、著作権法の範囲内をしてほしい。レギュレーションや著作物の引用可能範囲内でないといけない。

「説明していない」と言われたから、何度も、口酸っぱく説明している。

薄利多売で良心的な値段にすると、マッチングに合わない変なヤツが突き当たってくるという、

富裕層向けの高級品が、売れているのも頷ける

クレームも上品にしてくれる。

商品の質と向上に役立つ事、ちゃんと言ってくれと、思われる。

理想的すぎるかもしれないが、

システムや分割されたメソッドを作り、

受け手がここまで、モノを知らないというか、

これだけの気構えというか、

演劇入門以前の入門をやらないと、いけない。そっちの「教え」、「躰」に近い。

例を挙げると、『千と千尋と神隠し』はアニメーターになる以前の事をアニメーターに求めている。宮崎監督は新人スタッフはスタジオで掃除してくれるおばちゃんにちゃんと礼を言わないとか、渋谷洋一に語っていた。

何か入門以前に学んでおかなきゃならない。

それで

千と千尋である

だから

「釜爺にちゃんと礼いいな」

と言われてしまうような子がスタジオジブリの面接採用では、すり抜けて入ってきてしまう。

鈴木みそ先生の『オールナイトライブ』のゲーム専門学校の回の学生たちがいるじゃない？ 情報工学を教わるための、基礎学力がそもそも無い＝教養以前の備えていないちゃいけない事をもっておらず、教えたくても教えられないという恐ろしい事が描かれている。

モラトリアムの延長では、そうになってしまう

だから、このくらいは情報公開してもいいと思うけど、ひと昔前に桜井政博さんに「国内には後継者がいない」と、みんなあのゲーム専門学校の学生たちだから、海外に後継者を求めた方がいいと、不遜にも「ファミ通」を通して手紙を描いたことがある。

もしかしたら、それが今の動画配信に繋がっているかもしれないけど、

途中で観るのを挫折した『シン・エヴァンゲリオン』のマヤさんが「これだから若い男は」と言われて、心は「若い男」だから、視聴脱落したんだけど

「オイラ、まだ若い男だったんだ」と
手を合わせている暇、無いだろ。
人海戦術をする

今なら、せめて大商卒の人材に、後継者教育をしたらいいと、示唆ぐらいならできる。
説明不要・大阪商業大学には、アミューズメントの研究施設がある。
ハードメーカーの任天堂があるから、ゲーム業界はやや西高東低気味ではなく、この
研究施設がある大商卒の人材たちのおかげじゃないか？

桜井さんが動画でシリーズをしているのは、後継者教育だと思う。

絶対ケンカしちゃダメ、と。
私はケンカしちゃうけど、

あの一連の動画を全てできるなら、そもそも桜井動画を観る必要が無い。
丸谷オーの『文章読本』、丸谷文読に書かれている「言葉とレトリック」の章にある、
レトリックを使いこなすことが全てできれば、そもそも丸谷文読を読む必要が無い、み
たいな。

後記

「べらぼう」で平賀源内が「抹茶をくれ」と。つまり「茶番を一席」というオーダーをし
ていた。援護射撃、なのか？



執筆中

シン・シッピツチュウ 08.jpg

長い長いはじめに 習作Ⅱ

☆

長い長いはじめに 習作Ⅰ の 要約

星を五つから三つにするとマ○拓を取られる。

最近、野球のたとえが通用しないけど、例示できる実例の物件だから、やむをえない。

パームボールの投げ方を教則本に書いた人の名は球史に残っていない。

パームボールを「魔法の杖」にしたのは、その選手の努力や才能だから。当の 300 勝投手の小山さんの「地力」があってこそ、パームボールが生きる。精密機械と呼ばれた制球力があってこそ、チェンジオブペースが生きる。

ニーズはあるけど、「それはサブスクで手に入らない」と思われる。それにアマゾンさんは警戒されている。

Amazon に警戒して、皆やらない。

国葬の喪広告にも名を連ねるから、桜を見る会に出たから、サントリーの不買運動の一環で、サントリーの商品を買わない内田樹さんは書籍を売るのは流通チャンネルの一つとしてアリだけど、電子データ化されたモノを kindle アンリミテッドはしないでくれと、出版社に言っているかも。

kindle アンリミテッドの条件は他の電子書籍の販売サイトで売らない規約があるからだ。だから、思ったほど読みたい本がサブスクには無い。

するとその不満を叩きにくる。アンリミの販売頁にカスタマーコメントを書けばいいのに、たった百円の本に、ここまでのわけのわからない酷評を書く人がいる。

ソリューションを全て本に任せることはできない。それは「魔法の杖」だ。

近世江戸時代ではターヘルアナトミアを翻訳して、「解体新書」を出版しヨーロッパの医学の知識、蘭方医学が確かに魔法の杖だった頃は、確かに本で要求するものが得られる。

仮にもしこの「解体新書」クラスを求めているなら、「それはサブスクや電子書籍でそもそも手に入らないんじゃない？」と、答えるしかない。

これとこれを組み合わせれば、もしかしたら「魔法の杖」になるはず、というのは可能性として否定しないけど、フィラメントを商用に耐えるためには、試験で千の物品を試す「努力」をやる。（エジソン本人じゃなくて助手がやったらしいけど）

だいたい本を一冊読んでも、ネタに出来るのは、一個か二個。それもあっただけ儲けものの。『アメリカンベースボール革命』でバウアーは球速が落ちてきたら、自分の頬をひっぱたく。理由はわからないが、球速が戻る。

演劇で応用できるのは、セリフを本番でとちったりする俳優に、舞台袖で自分の頬をはたかせて、集中力を再び喚起させるという、ともかくやってみて稽古場でできていた事をとり戻させる。それでかえってセリフが飛ぶかもしれないけど、セリフをうまく言えるようになったら、儲けもの。

これぐらいだよ。

悪いルーティンになっちゃダメ。というより悪い流れを一旦断つ。

ただ、消化が悪い問題、大盛り一杯食べられないをどうするか？

安くて腹いっぱいになるが、味は落ちる学食のつもりで、安く提供、サブスクでも OK という、学生向けの書籍 = 学食 として提供しているはずなんだという、腹を満たせる = 文章量が多い だから。

そういうつもりで作ったはずなんだけど…… はっきり言うと「なつぞら」のなつみために「俳優修業」が直接読めない人のために、代用品として DAY 的に作るしかないんじゃない？ というご提案なんだけど。

ところが、学食を作っているそんな食堂にグルメ来ちゃったのか、質の悪い喜劇にしかならないような、さんざ食い散らかして、「ああ三分の一しか喰えない」と宣ったら、お行儀の悪い人を乗り越して営業妨害の半グレ？ ハンバーグと裏で言われる人。（許可局員限定ギャグ）

カロリーしかない、アンヘルシーな外食と百も承知とわかって、値段と折り合ってボリュームがある学生向けを出したつもりだけど、『美味しんぼ』に出て来るイヤミだけを言う美食家が学生食堂にやってきた。

「このたとえ、おかしいですか？ 雁屋哲はおかしくなっちゃったけど」

今、テレビのバラエティー番組でも、こんな事をお笑い芸人がやって見せたら、炎上してしまう。昔は失礼な事をするのが、お笑い芸人の仕事だけど、ペンギンの池にわざと落ちるとか、（確実に後払いしてくれるだろうけど）購入手続きしないで店のからあげ食っちゃうとか、笑ってすませてくれなくなったから。

こういう事するから、『インティマシーコーディネーター』で取材拒否の動物園があるんだよ。

たとえ笑いがとれても裏で、おばちゃんたちに悪口を言われるのは、引き受けなくちゃならない。

正直、笑いじゃなくて、狂気のクソレビューと思われる。

話を戻すと、皿をひっくり返し「食べきれない」と宣って料理を残す。

「どういう育ちをしているの？」と食道のおばちゃんたちが嘆く。なんか裏で渾名を付けられる。

こちらは、カロリーだけはある、ビタミン・ミネラルが低いを出している。これを消化し、応用できるかは、読者本人次第。

マクガフィンを検索して調べないというか、kindle アプリにわからない語句を調べら

れる辞書機能がある。ハイレグジーザズの陳列物で言えば、警官と舞台に置いた物品を同期させると、他の演劇用語も検索したらほぼわかってしまうから、説明をいちいちしなくてわかる。（ちょうど『うんこと死体の復権』という映画を観れば、研究者と物品が同期して「ああ、珍しい菌がいる！」と反応する）

零細を潰しにかかっているのか、困った事にそんな学生食堂をすごく充実させる大学がある。

それは企業努力だから正しい。だけど、今まで通りの学食のメニューを出す所も、ある。それは消費者選択だから、満腹（だけ）を提供するところも、あっていい、はずだ。やがて学生は獲得できなくなるけど。

しかし、この点に示唆的な事を語っているのが落合博満の『戦士の食卓』。その本では食事は満腹から満足を求めるようになった、と。

満腹にさせる学生食堂の学食なのに、食事で満足を求めてきた謎の客が現れる。

脳トレの川島教授の「情報中毒」という言葉も引くと、私は顧客を「情報満腹」にはできる。しかし「情報満足」は商業出版でも難しい。そうでなかったら出版不況なんてない。さらに、フリーミアムの情報を仕入れて、すでに「情報満腹」なのに、サブスクに加入して過剰にコンテンツ（本当はコンテンツだけど）を受容したら「情報中毒」になるだろう。

演劇の世界でも、みんな満足を求めている。しかし、満腹にさせることしか、できないのかもしれない。

お腹いっぱいでは満足ではないのである。

満足は「魔法の杖」の作り方、一片の材料、じゃなくてそのものがほしい。

楽したい、努力したくない。

その欲望に応えられない商品じゃないから、本は売れなくなる。

出版社もちゃんとしないといけない。

実は当初から、業者さんを疑っている。アマゾンさんも、放置しているから疑っている。

数部しか売れてないのに、こんなクソレビューつけられるのか、どのくらいの逆宝くじを引いているのか？ 検証がいる。

読者は1000部売れてる、最低100部以上は売れて、こんなクソレビューが書かれると思うかもしれないけど、約一年間で「高校生の□演劇入門」は一桁ぐらいしか売れてない。サブスクを含めても、二桁越えたか、越えないぐらいの読者しかいない。

数部しか売れてない数人しか読んでないモノにこんなクソレビューがつくのは、不自然だ。逆に、「テクノプロデューサー横井軍平」は無料配信も含めると、千人近い読者がいる。☆評価はつけてもらえるけど、カスタマーコメントをまだ一つもつけてもらって、無い！（2024年四月現在）

それなのにクソレビューを書かれるって、何か裏があると考えたくなくても、考えてしまうだろう。勘繰りたくなる。

万馬券に等しい逆宝くじを本当に引いちゃったのか？

出版社業界は独自に電子書籍を作る個人事業主を敵視しているんじゃないか？ 分け前が取られると、勝手に思い込んでない？

競合他者なのだから、それが当たり前かもしれないけど、「私は『本のセールスマン』というホームページをかつてやっていて、自主制作の本も、商業出版の本もリンクして売るアフィリエイトサイトだったけど、あまりにも本が売れない、本が一冊も売れた事が無いから、三か月でやめた」んだけど。

それで、この仕打ち？

本がまったく売れないという事実で精神衛生上耐えられなかったから、続けられなかったけど、やり続ければよかったのか、人を酷いめに合わせようとしていたかもしれない出版業界のために？ 自分のセルフ出版も含めて、出版業界全体のために、新刊書から古書も含めて、本をセールスしていたのに、少しでも意に沿わない言動があり「マンセー」（北朝鮮の人たち）でないとパージする。

その業界が支持されると思う？

ちょっと警告だけど、一人がやったら、連帯責任になるぞ!!

それは『福田村事件』の在郷軍人会になるぞ!!

本が売れないのを、自責と思わず、勝手に他人のせいになっている。ジャニーズ事務所や吉本興業のように、排除する。

ウクライナ戦争でロシア軍が友軍である北朝鮮兵を撃つみたいなの、味方撃ちして、士気を上げるバカな軍隊が戦で勝てるわけがない。

☆五つだけだと、バレるから、たまに☆評価が低いヤツを付けるためにやってない？

業者に頼まれて、やっている。

その生贄商品として、意に沿わないヤツのリストに私が含まれているんじゃない？

陰謀論めいたところまで突き当たっちゃったけど、取材力が足りないと、こうしたファクトチェックがいるところまで突き当たってしまう。

だけど真面目に学食をよくしようという、大学運営のようなところが現われると、こちらは駆逐される。企業努力していないところは、やがて排除されて当たり前。というか市場にいたくても退場する。

大張監督が嘘でもいいから、「後半未完成の『デウス・エクス・マキナ論』を読んで『ブレイバーン』を作りました」と

「Pixiv をロムったのか、あの作者みたいに」

「吉田戦車的」

『ブレイバーン』によって、未完成だった「デウス・エクス・マキナ論」は完成しました。

「逆行弾、撃っちゃうんだ」（ネタバレになるから書けないけど、どこかであるキャラが逆行弾を撃つし）

これから、「演劇入門じゃなくてスーパーロボット再入門だ」というカスタマーコメントがあったら、それは正しい。

失楽園にして、エデンの園。（ネタバレになるから書けないけど、どこかで裸になるし）

自戒をこめて、「自分のフリ」を直せ。役者殺すにゃ刃物はいらぬと、教養が必要な言

葉がある。

アニメファンには深夜のテレビを付ければ、クォリティーアニメがカンタンに見られる。本来、映画館に行ってチケットを買わないといけないのが、数年後には、テレビシーンで実用されてしまう。

『君の名は。』でやっていた微速度撮影が、テレビシリーズの『ヴィオレット・エヴァーガーデン』で時間経過を表すカットに使われていると、驚いた。

動画配信の NETFLIX が制作に関わって、資金潤沢であっても、あれはすごかった。

それに、ほめ過ぎるのよくないし、驕ってダメになっちゃうの目に見える。(これも不幸な出来事があったから書けるんだよね)

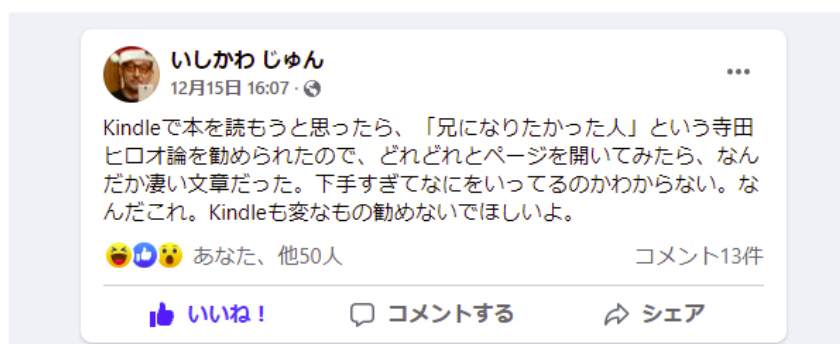
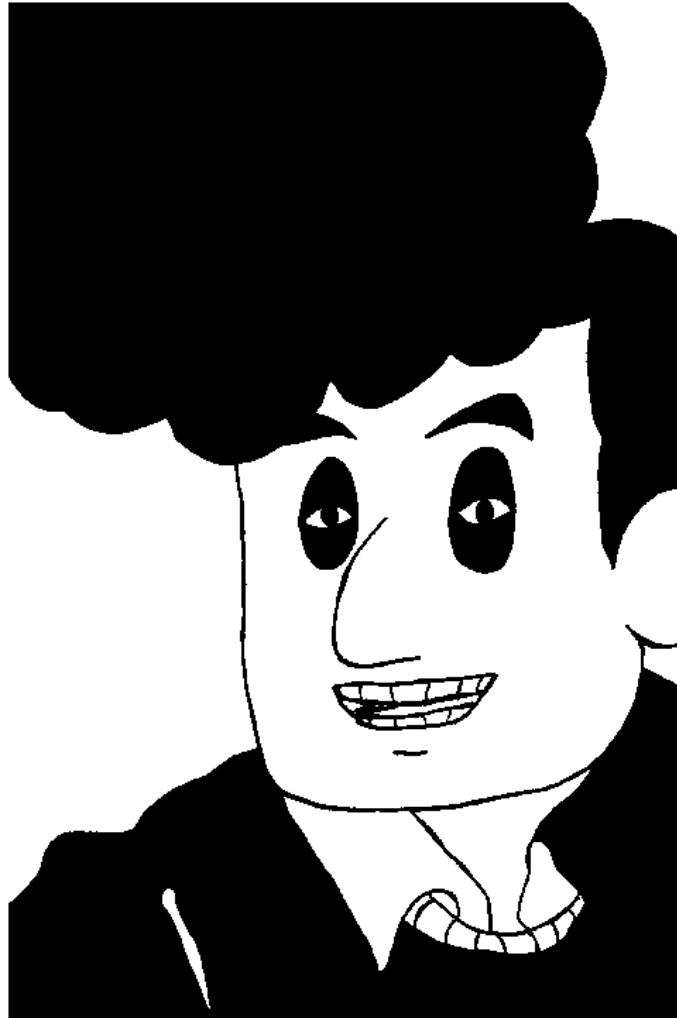
どうしたもんかねえ。

正しくない広告



独りぼっちじゃバボン どん
二人じゃなきゃバボン どん

どんの広告 30.jpg



いしかわじゅんの広告 10.jpg



どんの広告 42.jpg



17歳の井上喜久子
さんの本を買って下さい

おねていーの話をしていたり
17歳以上の娘さんがいたり
なんか 奇書？

これ以上は悪口じゃなくて情報流出
たとえば「声優界の『ヤラセと情熱』」とか
冗談でも書いちゃいけない
ドラゴンヘアカットみたいに「おいおい」と言われる

こんなの作るカネがあるなら
電気代を安くしろよ



電力会社の広告 000.jpg

ジブリ産業は日本社会をトリクルダウンして中京
経済だけ潤う

キミはあの映画を観たか？

現象に名前を付けるとすれば、

「なんでも全体主義になる」

と、いう事なのか？ 役者も名のある人物たちで、主題歌は「地球儀」のあの映画である。公式からストーリー中途までのあらすじは公開されたが、それでもストーリー展開がまったくわからない。

劇場公開前には宣伝戦略として、亡くなった高畑を宮崎が偲ぶ作品、と鈴木敏夫が広告展開させるというのが、予想されていた。（*1）

シナリオはそうはならず、ウソを付くわけにはいかなかったから、まったく広告展開、メディア露出（専門用語がある*2）をしないで、一回だけの飛び道具を出したと思われるが、「広告をしないという広告」「宣伝をしていないという宣伝」で、そんな事はギャグマンガでしかできない。

逆にプロモーションが難しい。「ポスターのこの鳥はなんですか？」と、監督に百回質問を投げかけられるのである。『紅の豚』で「なんで主役がブタなんですか？」と百回聞かれたから、プロモーションがイヤになって、鈴木敏夫が代わって前になるようになり、顔が売れたせいで映画の出来が悪ければプロデューサー責任になっていったと思われる。

正直、鈴木敏夫も百回質問されるのが、辟易してきたのか、そこはジョークを交えて否定するだろう、と思う。

ジブリを卒業した私は、今まで書いてきたモノ（「ディズニーへの不確かな返礼」）を読んでもらえばわかる。

つまり宮崎駿は手塚治虫と和解ができたか、私個人はそこにしか興味がない。ウォルト・ディズニーとは『ポニョ』で和解し、ジョン・ラセターにスープを渡せたと思う。

だから私はいつも通り、DVDで安く観れるか、テレビ放映が無いと観ないと思う。劇場まで足を運んで観ようとは思わないし、別件でシネコンに行っても、ついでに観ようとは思わなかった。

最近、岡田斗司夫の新書で、『風立ちぬ』は父・宮崎勝次氏を主人公・次郎だと擬える説を読んだ。だから、『風立ちぬ』は父との和解。航空機の部品工場を家族経営で切り盛りしていた人物が、何を考え、何をしようとしたのか、息子として父を理解しようと努めた作品という見立ては、岡田の悪徳（吝嗇）はあれど、一応留保しつつも、とりあえずは納得はできる。（勝次氏の人となりを文献で得るとカプローニの方が近いのではないか？）

私はモスキート号の親父機関工や湯屋の釜爺が宮崎父と思っていたが、どうも違うらしい。（ピッコロ親方も候補としてある）

具体的な内容、風の谷の図説はちゃんとイラストレーターに発注して清書してほしかったのは言うまでもなく、それはソフトバンク新書を読んでもらうとして、メディアを通して伝わる観客の感想には奇妙な一致があり、「新鮮だった」と口を揃えている。

それはサクラじゃないのか？ 協調、連帯、感想の共産主義？（*3）

現在の映画の広報は、広告のシャワーで見どころを公表して、観る前から観た気になる。劇場は答えあわせの場、というパターン化した映画興行の宣伝方法に、昔から反発があったのか、そこのところを周知されていないので、わからない。

ネタバレしてほしくない層は一定層いる。

その声が大きくなったのがSNS時代である。

宇野常寛さんが『ダークナイト・ライジング』を楽しみにしていても、結局フェイスブックやツイッターで内容が「期待通りではない」とわかってしまうのである。一時的に楽しめなくなる。

実際に映画を観ると、先に知ってしまった感想と同じじゃないか、「答え合わせ」的な探りで観てしまう。

逆に言えば、それが映画の見方、消費傾向として飽きられているのは、確かだ。

そういう件はロミジュリ問題。前口上で話の結末がわかっている。倫敦で演劇を見に来る観客はだいたい筋を知っていた。（イタリアから伝わる悲恋劇の再話だから）

これは歌舞伎も同じで種が割れていても、面白いのが定番作だ。名作の条件といっていい。じゃあ、何を観にいくのか、スターや千両役者を観に行く。

面白い筋であるのが保証され、尚且つスターが出ている映画を客は観に行く。

近年では珍しい「映画監督で映画を観る」という監督群がかつていて、宮崎は長命でまだ生き残っている人だ。長年かけてスター監督のブランドを作って、筋はともかく質は保証されているはずである。

稲田豊史さんの『映画を早送りで見ると人々』で、あのエヴァンゲリオンですら、副音声映画を作らなければいけない時代に、「意味がわからない」と言われるそんな映画を作れるのは、宮崎駿が最後だと。

それはそれとして、なぜ広告展開しなかったのには、二つ候補がある。

MeToo 運動を経て、映画界は園子温や所英男……じゃなくて榎英雄がいろいろと問題を起こしていた。寝技でしとめたわけじゃない。

少なくとも大手動画配信には、# MeToo 運動が起きないように意識改革をする向きがあって、そのためにリスペクト講習をして、二度とジャニー喜多川みたいな事が起きないように、防止策を講じている。

やはり宮崎もそういうところがある。

ちょっと女性アニメーターと触れ合いが過ぎるのではないか、今なら（当時から）それは# MeToo なんじゃないのか、だからなのか WOWOW のドキュメンタリー番組や「夢と狂気の国」のようなメイキングを作成していない、と。（後日NHKでドキュメンタリー番組は放送され未見である）

話を端折ってしまうと、愛弟子のジョン・ラセターがディズニーの旧・ピクサーのチームから追われている。このあたりはあまり、口を挟むのは憚られているようだ。# MeToo 運動の一環でそうなった。

次に、考えられるのが、共産主義的なテーマに帰ってしまった、という恐れがある。

赤から緑へ、という変遷というか、そこは鈴木敏夫がうまかったと思われる。マーケティングで左翼思想的な、いわゆる「運動」を想起するものをテーマにせず、エコロジーな「緑」に緑化させる映画を作っていく方向性が功を奏した。

『ホルス』の反省、『ホルス』については氷川さんの『日本アニメの革新』に書かれている。払い下げられたフィルムを名作としてアニメファンの間で上映会で回し観されていたらしい。その製作者たちとして高畑宮崎は鈴木敏夫に注目された。（だから上映会文化は重要）

運動的なモノがあるから、アニメファンの外には向かない。

「アニメージュ」でのエコロジー展開が当時を知らない人には事情説明も必要であろう。エコロジストのC.W.ニコルの連載を載せたり、どうもいろんな事をやっていたらしい。他の作品では、『パトレイバー』の映画第一作、いわゆるパト1で東京の再開発ブームが描かれ、当時地方でも緑地をゴルフ場を開発するようなバブル景気によって自然破壊が取りざたされていた。

経緯を乱暴に説明すれば社会問題の避難場所としてのアニメ作品、これが「赤から緑」という思想的変色としてファンの間では有名。

そうして幾星霜、宮崎アニメは коммуニストの最後の砦になりつつある。

緑から、赤に戻ってしまったのが、懸念である。近年は韓国の宗教団体である統一協会と長らく選挙支援を受けていた安倍晋三を保守政党の希望のように語り、かなり左翼側を嫌った言動で、その流れに乗ったマスコミ、メディアが左翼叩きをしているようだ。

運動が無かった事で餓首が起り、賃金が据え置かれた疲弊長年耐えて、ストライキが何十年ぶりという点ニュースになるのが近年の実情ではないのか、さらに可処分所得が減って、消費者の量が減って首を絞めていないか、藤野千夜さんのようにLGBTの人を見殺しにするような事をして、組合に失望があったと思われる。

誰もが、こんなに日本が貧乏になるとは、思わなかった。右傾の人たちには、思惑通り経済的徴兵を促す、「いい流れ」になっているという事だろう。

吉野源三郎の作品が、著作権上、どう処理されているか、不明（このあたりも宣伝をできないネックになっているかもしれない）であるが、岩波文庫版の解説で、『資本論』、その入門になっていると、丸山眞男が語っている。（『文庫解説ワンダーランド』）

コペルくんが自分が赤ちゃんの頃、粉ミルクを飲むと海外の人も含めて、いろいろな人の手が関わっている事、いわゆる人間分子の理論、これが『資本論』で語られている事で資本論入門と解説で推奨されていた。（しかし商品から生産者は阻害されている）

この辺り、「赤に戻る」ことの懸念である。

そして、二つの可能性を考えていたら、思い出した事で、もうひとつある。

そのキーとなるのは、ゲームソフトの『高機動幻想ガンパレード・マーチ』だ。記憶力が悪くなって、思い出すのに少し時間がかかった。

奇しくも、「一秒もプレイしていない」にとりあげるゲームソフトで、本当に今まで一秒もプレイした事が無い。

「ナイスゲームス」vol.6の特集記事である程度、内容はわかっている。時短である。中川大地さんの同人誌の記事が雑誌「CONTINUE」に載って、スタッフについて

もわかる。

後は士魂号の元ネタである。

その士魂部隊の資料を手に入れる途中で、時間が経過して、「ゲームレビューコンプレックス VOL.1」がぜんぜん売れないので、ペインティングしてしまった。

とにかくGPMについては、一秒もプレイしていなくても、ひとつ（角度のある独自）記事を書ける。書き終わったらGPMをプレイしてみよう、とも思っていた。（感想が変わるかもしれないし）

当のGPMは開発期間が長期に渡り、プールしていた宣伝費を開発費に回したと思われる。（群体A Iの転用に手を焼いたのだろうか？）

そのため、当時SCEの広報担当者である佐伯さんを名指しで批判される事になる。宮崎駿と同じく、「オタクが嫌いなんじゃないか」と、邪推すらされる。

つまり、「開発費が底をつき広告費をゼロにした」と疑われている。

同じく、「制作費が底をつき広告費をゼロにした」というのが、つまらない真相ではないのか？ 広告宣伝費をかけたくても、かけられなかったのが、実態なのかもしれない。

そういえば、GPMの開発会社であるアルファシステム開発の『俺の屍を越えて行け』（*4）は、当時ゲームバブルだったのか、ちゃんと岸部一徳さんを起用して、「親父の遺言は『俺の屍を越えて行け』だってさ」と、タイトル名を印象づけるTVCMを流していた。

イメージCMでなんとかなった華々しい良き時代であった。

現在、下にCMをしても、功を奏さないどころか、フェミニスティックな反発に遭うこともしばしばある。他にも起用タレントの不祥事などで、いろいろと問題が起きる。

結果的に、制作期間が長期化してしまい、『ホルス』の二の舞になったと、たとえられるのか、鈴木敏夫の「一か月間で一分もできなかった」期間がある*5とされる。

スタジオジブリは出来高払いではなく、雇用によるアニメーターへの給与支払いだから、制作が延びれば延びるほど、費用が嵩む。それでも月産5分で24ヶ月かけて一本の長編映画を作るのが、スタジオジブリの品質管理である。そのクオリティーコントロールがあったから、全世界で公開されるに足る、アニメ映画を作ってくれた。そして実際に支持も得た。

ビデオソフトが売れて、トトログッズも売れて、会社運営が成功していき、生産力が上がっても、長編映画制作のペースは変えなかった。

はずだが、一度制作部を解体した後に、またスタッフを募って、あの映画が制作された。長い年月がかかってしまうのは、否めないだろう。

そして、あの映画が出来たのである。

岡田は『新世紀エヴァンゲリオン』を観る前に、内容を勝手に憶測している時が一番面白かった、と語っている。ガイナックスを離れて、自分が関わらない作品が一番のヒット作になってしまったため、そのあてつけもあるだろうが、同じように、劇場公開後、中身を語らずして語るという「ネタバレ防止で感想の全体主義」があって、中身をあれこれ予想妄想できた頃が一番面白い！ と、思われるが、如何だろう？

事前情報で知れるキムタクが高畑勲なのか、ペリカンが高畑勲ではないのか、大叔父が手塚なのか、それともやっぱり高畑勲なのか、吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』

を読んだ主人公はガッチンにあたる人物をちゃんと裏切るのか、それともガッチンを裏切って生きている多くの観客≒消費者の代用品として、うしろめたさを失くす君生ッエクスプロイテーション映画（* nn）に仕上げているのか？　そういう唾棄すべき「商品」でなければヒットはしないが火野正平が「トウチャコ」と言わないのか、言わないのなら、出て来る意味がないんじゃないか？　朝ドラでコメディリリーフされるお笑い芸人じゃないんだからと、得手勝手な憶測を試みるのは、確かに楽しい。

事前に読んでおくべき宮崎の著作は、岩波新書の『本へのとびら』だと思う。たぶん種が割れると思われる。素材源である数々の児童文学、そのブリコラージュになっていると、なんとなく観る前から、わかっている。（ナウシカの評論、書いてるから。マンガの方の）

もちろん、吉野の『君たちはどう生きるか』にも言及している。挿画がいいと、語っている。

「人生は生きるに足る」という物語が語られているが児童文学だと、宮崎駿は持論を持っている。そのアニメ映画を作るのが、宮崎の「天職」（神から与えられた職能）であろう。（正確な文言は「人生は生きるに値する」）

我々（ジブリを卒業した者たち）は、これを真っ向から否定するエドワード・ゴーリーをもう知っている。翻訳した柴田元幸さんが「子供という概念が存在しない」という近代的人権意識の無い頃の子供の扱いを、表現している物語。

児童文学が近代文学の良心であった時代は終わり、現在では昏い児童文学もありえる地点に立っている。（宮崎はゴーリーを全面否定するだろうけど）

私はあの映画を実は少し期待している。

ああ、これは高畑勲や二木真希子さん、大塚康生だけでなく、ジブリ映画の制作に関わってくれた木上さん、京都さんの准ジブリアニメーターたちを悼むために作られていたと、わかったら、あの映画を認められる。

それは大きなネタバレ、誰も語れないと思う。

※ 今回は『なんとなくクリスタル』方式で本文と注釈で執筆人格が分れているようにしたい。だから、注釈が書かれているのが「有料」。

岡田の件で何が言いたいのか、わからない人には、「自分が関与した想像の中のエヴァンゲリオンの方が面白い」と、翻訳できる。本人は認めないだろうが。

*1 『スタジオジブリ物語』を読むと、そうとは言い切れない。元々高畑の生前からハウルと同じく、できるだけ宣伝をするつもりはなかったらしい。

そのため、本憶測記事は破綻している。だから面白い。

また、アイルランドの児童文学が種本らしいとあるが、それは著作権的な処理をちゃんとしているのか、疑わしい。

ただ表向きの理由は「宣伝をしないという宣伝」だが、やはり宣伝費に使われるものが溶けてしまったのも捨てきれない。また広告宣伝費が具体的に何に使われるかも、岡田斗司夫の著作によると怪しいのだ。

＊２ グロス・レイティング・ポイント

＊３ 感想の共産主義が起きる理由は、なんとなく知っているが、反感を買いたくないので、口を閉じる。さいとう元彦の支持はけして「推し活」などではなく、扇動されて作られたモノであると、なぜ報道しないのか？ 同じいかがわしさを感じる。

＊４ VOL.1で、『２』について語った「鬼切り鶴子の因縁語り」の補足を付け足すと、シナリオライターが途中降板して、緊急に榊田さんが鶴子のシナリオを継ぎ足したのである。だから、ゲームストーリーの盛り上がりとゲームプレイ時のプレー感覚のドラマが合わない。

＊５ 『スタジオジブリ全作品集』内での鈴木敏夫の発言。“月に一分しか進まなかった”が正確な発言である。ホントかどうか読んで確かめよう。Wikipediaでも似ている事が書かれている。

＊６ ブラックスプロイテーションのもじり、先行するベストセラーマンガのプロイテーションになっているのではないかと？ もう小説を忠実にマンガ化された作品があるのだから、宣伝しなくていい。

キミはどう見えている？ 後半視聴以後「並列化編」

映画の『君たちはどう生きるか』は、基本は日本神話の黄泉に妻を取り戻そうとするイザナギ冥界回帰譚、そしてスサノオの母親への思慕の再話であるのは、言うまでもない。

実母ヒサコが火事によって亡くなるというのは、ヒノカグツチを産んだイザナミが“ほと”を火に焼かれてしまう、その象徴性を表している。

下の世界の墓の前で、キリコさんが振り向かず、小舟まで近寄る事を真人に警告し、鞭を使ったまじないで炎の輪を出す。

弓というのはリラ（竖琴）の原形でモノコルド（一弦琴）であろう。西の果てに伝播したオルフェオとヘウロディスの民間に広まっていた伝承の妖精物語にもハープが出て来る。

このような事から、児童文学にあるモチーフも混合させてオルフェウス神話の再話を試みた、とみるのが正しそうで、みそぎに三柱が生まれたように弟が産まれる肯定的な終わり方にも好感が持てる。

しかし、はたして、そうだろうか？ それだけだろうか？

この映画から、何を読み取るのか、どう解釈はできるのか、大きく膨らませることができるが、とらえどころがない。

手掛かりとなるキーパーソンは大伯父、この人物を誰に見立てるかで、万華鏡的に大きく評価が変化し、評点の高低が揺らぐ。

表層としては高畑勲が全員の是を得られ、中層に京アニ事件以後のアニメーターたちのメンターで半数を割り、そして深層にC・W・ニコルがいるというの少数派の解釈になる。

大伯父は圧縮された伯父、叔父たちを個体一人のデフォルトに圧縮された人物、つまり冥界の王にしてフェアリーの王であろう。

この積層が必ずしも、順序よく折り重なってないから混乱を産み出し

その問題点が洗い出される。浮彫となるか

それは作品を難解にして、評価を損なっていないか、

話題性と作品の質に混ぜ物が入っているかのような、感を抱く。

高畑勲の死はわかりやすい。

大伯父は高畑である、というのは誰もがとりあえず、考えてみる。

“本に憑かれた”と言われる大叔父は高畑をイメージ（想定）するとわかりやすいのである。かつて本を読むと「アカになる」と言われた。高畑は確かに左翼思想家の部分がある。アニメ好きであれば、映像作りの知識があり、仏文献の原本を取り寄せて資料を読み漁る高畑は左翼知識人として、認知はされている。

しかし「大ナマケモノの子孫」と宮崎に呼ばれた高畑は、労働生産現場から離れる嫌がある。

スタジオジブリでは『山田くん』以後、半分隠居しているような状況、スタジオをサロン化しているらしく、出社してスタッフを捕まえて哲学談義をして帰っていく。それは後に鳥獣戯画論を結実させた果実もあるが、実にならなかった知識人の戯れで終わった事も多かっただろう。

高畑からやや離れて、タイトルが出る背景には山がある。

この山を過ぎた車で向かう疎開地、そこに東映城的な屋敷がある。洋館の別棟もある。そのアニメーションの洋の東西を重ね合わせている（和洋折衷）ようで、東映城に潜む人物、それが大伯父にあたる高畑であると、見立てるとやはり東映動画（現・東映アニメーション）のスタジオがあった練馬に向うまでに、鉄道で一山を越えてはムリがあるが、やがてビルが立ち並びビル群を越えていく車窓が、一山を越える
下の世界に時空を越えて

西ジブリがかつてあった。

館野仁美さんが著作『エンピツ戦記』で語るところによれば、トヨタの空き工場を借りて、アニメーターを養成しようとした。大多数はスタジオジブリに編入され、一部は西へ渡ったアニメーターたちがいたのではないか。

その渡った先にあるのが、京都アニメーションと思われ、高畑の高い要求にも応えることができた木上益治さんがいる。受け入れ先であっても、おかしくない。（裏取りが必要な

そうするとタイトルバックが出る山は富士山となる。

富士以西の中京、名古屋のキッチュな「悪趣味」が反映された土地柄で尾張徳川・駿府（現在の静岡市）、さらに宗春が起こしたバブル経済で作った文化を彷彿させる屋敷である。

そんな中京にジブリパークがあるのは、鈴木敏夫が中日ドラゴンズファンであり、映画興行の支援宣伝で中日新聞とも懇意であるからだ。

宮崎自身が中京をよく思っていない

隕石とは何か、森を焼きこげついた地面、ウェールズの黒い大地を作る。

無論、南ウェールズが『ラピュタ』のパズーが住んでいた炭鉱街のモデルである。

三日に一度、13の積み木でバランスをとる。この13という数値をどうみるか、アニメ監督という職業を補助線とすれば、アニメーションの工程はおおまかに分けて、10ほどある。

脚本、絵コンテ、レイアウト、作画（背景含む）、原動画、セル転写、セル裏塗り、撮影、編集と、さらにデジタルでセルはスキャンに置き換えられて、作業も変化追加を喰

えると、13に届く。

こうした工程（分業化された作業併行）を経て、だいたい三日に一度、ラッシュフィルムができる。

その度にチェックし直す、アニメ監督の仕事の暗喩、
エコロジー思想が入り込む余地があり、三日に一度は森林パトロールをする積み「木」の監視を比喻していないか？

そしてスタジオジブリは後継者問題に悩んでいた。

インコ大王はもしかしたら、高畑宮崎の立場、大伯父から見た後継者にいたらないアニメーターを表していないか、そういう
積み木を乱暴にいじり

フィルムのカッティングが甘い

タイトルバックの山は幾つものメタファーを折り重なったものと結論する。

基本、邦画では向って右が関東、左が関西で地図の北を上にして見るような暗黙のルールに従っている慣習がある。それには反するのが黒姫山、四股名でもある出身が黒山の力士がいるように、C・W・ニコルが移住した信州の森は東京からの下りではない。新潟県側からの鉄道（のぼり）では長野県黒姫山が右手になる。

この反転を

『TREE』での対談ではウィズダムといった六つを備えないといけない。

宮崎はC・W・ニコルのエコロジー思想を受け継ぐことができない。

エコロジーを生活に

自分には悪意がある。自傷によってサボタージュする悪意は

大瀧詠一の分子分母説、この高畑や木上さんや、C・W・ニコルに

大水が出た事で、三層が並列化したのではないか？

タイトルの山もメタファーを折り重ねているために、

『本へのとびら』にて戦後に出された新潮社版の『君たちはどう生きるか』の脇田和が描く「懐かしさ」を感じる車に触発されて、真人の父がダットサンに乗って家に帰ってくるシーンがある。

この真人の父が学校に300円の寄付については、
アイデアの一端と思える事が、

宮崎父が栃木で戦闘機の軍需工場を営む病弱な伯父を助けて、未熟工が産む不良品であっても、受取る軍人に金を掴ませたら滞りなく納品できたと、父自ら不正を語る。

宮崎曰く矛盾の存在である。

残念ながら、これはシャレになっておらず不良品の集合で出来た機体では、防空戦ができるわけがない。

鈴木ドイツの『ガンダムと第二次世界大戦』の「量産機なのに試作機よりも性能が落ちる機体はありえるのか」という疑問に熟練工が前線に赴く、材料が底をつき強度が低い代用品を使う等の事案が挙げられている。

そして、賂（まいない）を掴まされた軍部の腐敗で不良品で組み立てられた兵器であれば「試作機以上の性能を出せない」を裏付ける証言であるのがわかる。

戦争末期ではこうして諸事情により劣化装備になり、そうした量産機は試作機よりも性能が落ちる。標準装備の量産機は、試作運用時の問題が改善されており、試作機よりは性能は上だろう。

つまり、アニメ映画の歴史、戦争中（アニメの戦中は映画法発布以後でフィルムが手に入らなくなるというのが私の持論）で

そして「戦争協力者」である
軍需工場の経営者の病弱な伯父も大伯父のモチーフのひとつではないか。

そして生産される部品、汽車が止まり屋敷に運ばれるキャノピーとは、なんであろうか？

『ナウシカ』から王蟲の眼の殻の再利用と言えなくも無いが、レイヤーのモチーフではなかろうか。

アニメーターたちにとって

手前奥レイヤー編に 続く



執筆中です

シン・シッピツチュウ 25.jpg



文章礼賛 もね ある

「出版を守る為に半分諦める」

民主主義を守るために半分諦める。
これを引いてみたい。
慧眼だ。金言だと思われる。
つまり、出版業界を守るために、権威主義を半分あきらめるのが、適切。
もしかしたら、現場にいる人間はもう諦めている。
半分以上、多くのモノを諦めている。
権威主義はさすがにまだある。
ただ、時間による風化は否めない。
そして今までのやり方が無限には通用しない。
文読でも書いた近代文学者の構成というのは百年経って通用しなくなっている。

宇野常寛さんは「庭の話」か『遅いインターネット』の文庫で追加で足した巻末記事で民主主義を守るために、半分諦めるという事を提唱している。
なんだろう、石破さんと同じクリスチャンの大平さんの「政治は 60 点で良い」に通じる。宇野さんは石破茂と対談もしているので、
この 60 点政治に近いのではないか？
頑なに意志貫徹ではなく、40 点は減点の妥協は必要。
そうしないと、政治的妥結が

イーロソじゃなくてイーロン・マスクが Twitter さんを買収して、いろいろと Twitter で犬の顔が出てくるとか、名前がXに急に代わり、トランプの凍結を解除したり、「ともかく金を払え」とピューリタンとセクササイズを誤訳してしまううっかりさんに言われたくねえなあ、と本当にいろんな事が起きた。

ともかくにも課金圧を高くして、利益が出るようにしようと躍起になっている。
これも、お金のあったイーロソ.....イーロンに負債を担がせようという誰かの魂胆があって、途中で気づいたのか問題がある Twitter を買収するのは、手控えようとして、そうはさせじと民事裁判になって、契約で買収しないといけなくなったところまで、サインが済んでいたのか、買い上げなくてはいけなくなる。
(『刃牙道』読んでない人は「なんの冗談」しているかわからない)
それで民間に管理が任されて、右往左往している。
右往左往してしまうのが、たしかに問題だ。

鉄人 28 号のリモコンを握られたように、イーロンのやりたい放題でブラックオックスじゃなくて、ブラックエックスになっている。

ネットインフラ問題で、こうして個人の気分次第でどうにでもなると、いろいろ問題がある。

正太郎くんは署長の後見がないと難しいし、
イーロンの後見がドナルド・トランプという、それはそれはヤバいことになっている。

Twitter 日本法人はどうやら電通と仲良くやっているから、せっかくの広告費をかけたものが、何かの炎上でダメになるのが許せない。

万博の広告費が出ているところにコントロールされていないか、

科学は宗教から生まれ、その科学から産まれた交流サイトは
大家を困らせるのは、落語の「らくだ」のような店子である。

新城カズマさんの物語工学論で語られた「創造主を滅ぼす者」になってしまったのだろう。

これ、文読にも言えないか？

文読を読んでいた読者たちが文読を滅ぼす。

たとえば、文読を書いてわかったのは、旧かな遣い、漢字も旧字体を使うべきで、それが正当な文章読本の後継にあたる。

横表記自体が、論外なのだが、

しかし、旧かな遣いを読めたり、書く事、さらに旧字体もわかっている人間はそもそも「文読いらないだろ」と。

何度も同じネタを繰り返すと丸谷才一が書いている丸谷文読で
レトリックの章で、できる技法を全部できたら、
そもそも丸谷文読を読む必要が無い。

近代文学者の権威をあやかりたいと文読を読んだ人たちは
別に自分の文章力を上げたわけじゃなかった、かもしれない。

今はまだ権威主義が残っている。

小さい文字指定

タイムラインに流れる噂では、イーロンはトランプを大統領選に勝たせるために、
Twitter を買収したとテレビ番組で語っている。

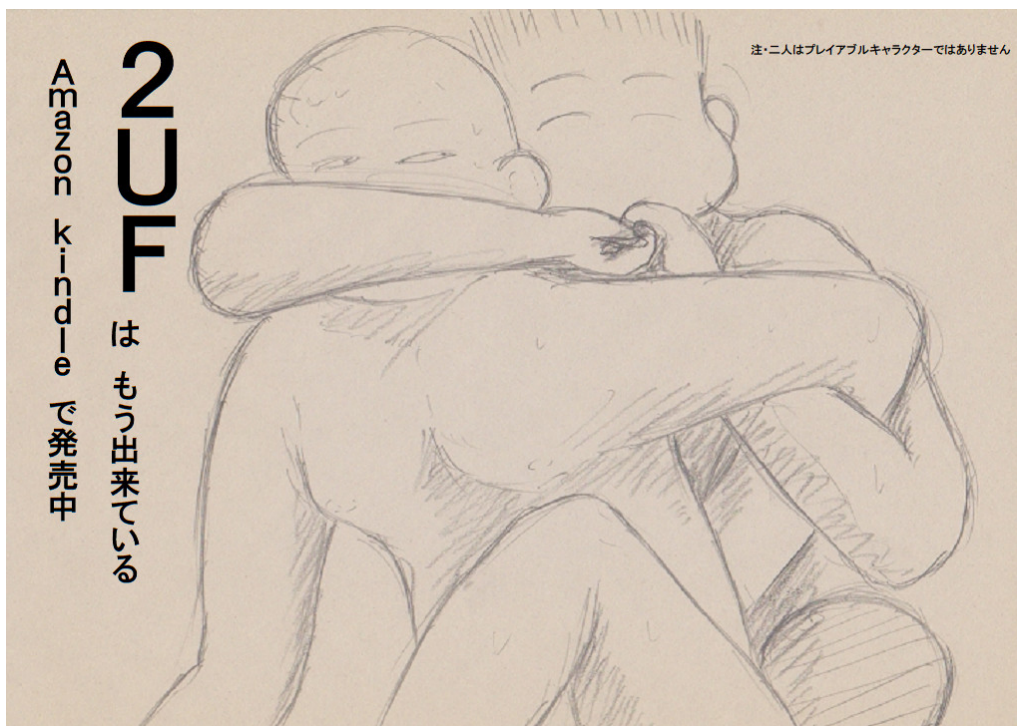
買収したくない、というのは裁判での「芝居」に過ぎなかったのか。



執筆中

シン・シッピツチュウ 17.jpg

手広くやろうとして狭い範囲に告知



告知 30.jpg



告知 28.jpg

告知



高須クリニック のテレビCMで

「漫画家 西原理恵子」

を見る度に笑ってしまう

告知 34.jpg

本のセールスマン的なネタ

書評 クソレビュー対策班 『イロモノの野望』 男色ディーノ

ディーノの本に、アマゾンのレビューをした。

それで、男色ディーノにリプしてリクエストに応えられなかった事を詫びた。はずがBANされた。

ちょっと、男色ディーノ、「忙して」、似顔絵を描けないと、判断して、文庫になったら読もうかなと思っていた著作を電子書籍で購入しました。カスタマーレビューも、私は☆五つやりチンだけど、星五つにしました。これで似顔絵を「忙して」描けなかった事、許してね。

これで不義理は帳消しにして下さい。

とにもかくにも、謝罪リプだからBANされると困るんだよね。

この辺りだろう。

BANされたのは、「男色」と「やり」「チン」が何か男性同性愛者を「攻撃」しているとAI誤読されたらしい。

「えっ？ なにそれ」

みたいな。

やりチンでLBGTにやりがチンであり、イーロン・マスクがトランスフォーマーみたいにサイボーグになり、「表現の自由は許すがオレの悪口は許さん!!」と。

そもそもディーノに「ちゃんとした似顔絵を描いてくれ」と呟かれて、鉛筆デッサン画でも描こうかな、とは思っていた。DDT事件簿の股間から腕が生えているような、作画だったから。

AIの学習の参考にしてもらいたいラクガキである。

そういうのではない真面目な似顔絵を描きたかったけど、「ありえない未来の思い出ち」のマンガを描かないといけないので時間が取れず、時間さえあれば、面白みはないけど、顔資料を元にデッサン画をちゃんと描いてアップしたかった。（デッサンを崩してあえて描いているんだから）

仕方なくというか、不義理に対して、購入予定でない本をお電子で買うという、プチ鹿島さんなら「金で解決」というツッコミをされてしまう。

当然それは、いたしかたない。

馬場さんの奥さん、元子夫人の逆。

だから、☆五つの不義理に対して、ささやかな埋め合わせ。

「ひろみつみたいなのエロなポストをしたら、ゲイを蔑視していると、一時的にアカウント停止になった」のは、失敗を面白く話せるか、その格好のネタである。

大げさな話をしてしまうと、翻訳された英文では「課金したので、これでカンベンして下さい」と書いたら、帳消しが「腸」に消しゴムを入れるか、何かの意味に受取られたのでは？ “忙しくて”を脱字しているよ、ぐらい指摘してほしい。

外国の人には、最近片言は良くないらしいが「ゲイをスカとロジーか？」と魔法の言葉みたいなの、新しいスタジ○ポロックの映画の題なのか、それを発言していけない部類で「ヤりました」と書くと、外国の人に「槍で刺した？ 肛門にカ？ 山里ノ肛門爆破カ？」と片言はあんまりよくないみたい、それも「チン」がついているのが、ミソというか、「クソ」というか、まるで、ディーノのリングの上でのムーヴを誤解されたようである。

私もセルフパブリッシングを Amazon さんでしているが、変なクソレビューを書かれるが、アマゾンさんは何もしてくれない。

Uとか、U2とか、UWFやUFCのUのことで、アルティメットやユニバーサルである。UにはSAKUのUもありそれは桜庭とか、そういう格闘技に関連するイニシャルである。

それでFはファイティングやフェイクのことで、そのことについては「F」、深く触れませんが、『イロモノの野望』で語られるディーノのクレーム処理に書かれる事、正しい。

これからカスタマーハラスメント対策でやってくれるようになるかもしれないけど、アマゾンさんは安倍さんに近寄るような、そもそもしちゃいけない国葬をして、連名で「国葬するぞ」「国葬するぞ」（シャクティパッド的なジェスチャー）の広告に名を連ねている。

安倍さんと仲良くなろうとするヤツは、だいたい悪人で皆サブスクを警戒している。

体制側と結託して、うまい汁や金銭的便宜か何かして、違法行為を免れたいのだ。

流通に関して、Amazon はとやかく言われたくない。とあるプロレスラー名鑑に宮下とある。偶然、男爵ディーノにリングネームが似てしまった男色ディーノ——それはともかく規制して、うまい汁を吸わせてもらう「てはず」を作らされるハメになるのは、御免被る。

そもそもセルフパブリッシングの作家の成功を求めているのかもしれない。

出版社の意向もあるだろうが、規制の名の元に国内作家をコントロールしたいという思惑、R-18 本を海外で売れないようにする方針も、何か裏があるんじゃないか、そう思う（勘繰りたくないけど、性表現を描いたマンガ家が永久凍結されているとか）

「観てないね疑惑」と「読んでないね疑惑」でいしかわじゅん先生は、そうなんじゃない？

『たけしの挑戦状』を知っているか、知らないかで『イロモノの野望』は評価が分れる。「コンティニュー」でもクソゲーとしていじってるけど、連載を持っていたブルボン小林さんはモノクロ頁で「作家性が認められる時代じゃなかった」みたいな記事を書い

ている。

クソゲーの帝王は『デスクリムゾン』である。「キングクリムゾン」ではない方のクリムゾンである。

クソゲーの殿様、それが『挑戦状』であるが、ゲーム文化が醸成されると称号となり、別名「キング・オブ・クソゲー」として評価が定まる。「ゲームセンターCX」の番組が固まっていない頃に、『挑戦状』をやってみようと、チャレンジ企画がはじまって、それで有野の挑戦状をはじめて、二十年選手になる。

ただ、もう真似して、作れない。

『ポプテピピック』みたいな場でパロディ映像は作れても、同じ内容のゲームはもう作れない。メジャーなコンシューマ市場では、なんとかインディーズで挑戦状クローンなゲームを一回こっきりで作って「ネタ」を提供して終わり、だと。

同じくディーノもわかっている。

『挑戦状』には価値の変容がある。

北野映画の萌芽を見るし、

それにしても、

あれ、書いてよかったのかな？

昔のプロレスラー名鑑だと、本名に「宮下」とだけある。

だから、偶然リングネームが、あるキャラクター名と一致している。

こんな ぶっく

くそれびゅ に まじになるなよ

急遽予定にない追記 ☆ 都電プロレスについて

まあ、全日に所属したら、馬場に通称社長プロレスをするしかない。

高度が低い16文キックに、自ら当たりに行くように、百合子ちゃんのチョップを受けて負ける、都知事プロレスを都電の親玉なんだから、しなくてははいけない。

だけど、ディーノが百合子ちゃんにリップロックすれば、伝説になったと思う。「ヒルトンの銀食器の味がしたわ」と、舌なめずりして、返してくれるはず。

学生時代のディーノなら、カルピスの瓶を振って、百合子ちゃんの顔に飛沫をかけていただろう。女性にグーパンチをしていた「初恋の味」をかみしめる。（これ、笑いどころの情報流出になっていないか？）

最後、百合子ちゃんに肛門爆破しようとするけど、一発目は不発。

ウィッグをもしつけていたら、ディーノに取られて、飛ばされる。

新聞の一コママンガに描かれれば、良かったのにね。

プロモーションブック 腹立つノリ背番八号

著 者 ゴトチヒ

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
